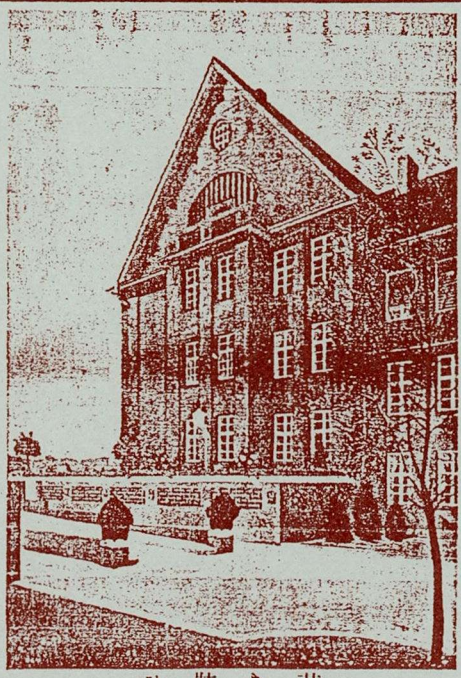
# 建築ト社會

第四輯　第四号



若き裝ひ
（春郊の或共同住宅）

大正十年　四月一日

日本建築協會

# 日本建築協會會則

第一條　本會ノ目的ハ我國建築界ノ堅實ナル發展ヲ期スルニ在リ

第二條　本會ハ日本建築協會ト稱ス

第三條　本會ハ事務所ヲ大阪市ニ置ク

地方ニ支會ヲ設クルコトヲ得

第四條　本會ハ人格、學識、經驗アル建築家ヲ以テ會員トス

會員ノ氏名住所ハ會員名簿ニ之ヲ記錄ス

會員タラムト希望スル者ハ會員五名以上ノ紹介ヲ以テ入會希望書及履歷書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會ニ於テ議決ス

第五條　本會ハ其目的ヲ贊成シ事業ヲ援助スル者ヲ賛助員トス

賛助員ヲ分チテ左ノ四種トス

一　名譽賛助員―地位又ハ學識アル名望家

二　終身賛助員―金參百圓以上又ハ之ニ相當スル物件ヲ本會ニ寄附スル篤志家

三　特別賛助員―建築ニ關係又ハ趣味ヲ有スル者

四　普通賛助員―建築ニ關係又ハ趣味ヲ有スル者

賛助員ノ氏名住所寄附ノ金額又ハ物件ハ各賛助員名簿ニ之ヲ記錄ス

第六條　名譽賛助員ハ例會ノ決議ニ依リ本會之ヲ推薦ス

終身賛助員タラムトスル者ハ會員貳名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及寄附ノ金額又ハ物件ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

特別賛助員タラムトスル者ハ會員二名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及履歷書ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

普通賛助員タラムトスル者ハ會員ノ紹介ヲ以テ申込書ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

第七條　會員ハ會內ニ於ケル其言行ニ付會外ニ於テ責ヲ任ゼザルコトヲ得

名譽賛助員ハ本會ノ優遇及第十九條ニ基キ相當ノ利得ヲ受ク

終身賛助員、特別賛助員及普通賛助員ハ第十九條ニ基キ會誌ノ配布其他各相當ノ利得ヲ受ク

第八條　會員ニシテ脫會セムトスル者ハ其旨ヲ本會ニ申込ムベシ

前項ノ規定ハ賛助員ニ之ヲ準用ス

第九條　本會ハ會員ニシテ本則ノ規定ニ違背シ又ハ本會ノ名譽ヲ汚スノ行爲アリト認メラルヽ者ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ其權利ヲ停止シ若ハ之ニ脫會ヲ勸告シ又ハ例會ノ決議ヲ經テ之ヲ除名スルコトヲ得

前項ノ規定ハ賛助員ニ之ヲ準用ス

第十條　脫會其他ノ事由ニ因リ會員タルノ資格ヲ失ヒタル者ハ既納會費ノ返還ヲ求メ又ハ其債務ヲ免ガルヽコトヲ得ズ

第十一條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一　會頭　一名

二　副會頭　一名

三　理事長　一名（理事長ヲ以テ理事ヲ兼ヌ）

四　理事　十名

會頭ハ會務ヲ總監シ本會ヲ代表ス

副會頭ハ會頭ヲ補佐シ會頭事故アルトキ其職務ヲ代理ス

理事長ハ會務ヲ總理シ會頭、副會頭事故アルトキ其職務ヲ代理シ理事會ヲ代表ス

理事ハ會務ヲ處理シ理事長事故アルトキ理事會ノ決議ニ依リ其職務ヲ代理ス

第十二條　役員ハ會員中ヨリ例會ニ於テ之ヲ選擧ス但會頭、副會頭ハ名譽賛助員中ヨリ之ヲ選出スルコトヲ得

理事長ハ理事ノ互選ス

役員ノ任期ハ二年トス　但シ理事長ニ付テハ一年トス

理事ノ改選ハ每年半數トス但引續キ重任スルコトヲ得ズ

第十三條　本會ニ左ノ職員ヲ置ク

一　主計　一名

二　主記　一名

三　編輯　三名

四　編輯補　若干名

五　書記　若干名

主記ハ庶務ヲ、主計ハ會計ヲ、編輯ハ編纂ヲ處理ス

編輯補ハ編輯ノ旨ヲ受ケ編纂ヲ分掌ス

書記ハ理事長、理事ノ命ヲ受ケ會務ニ從事ス

第十四條　主記、主計、編輯ハ理事之ヲ互選ス

編輯補ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名ス

書記ハ理事會之ヲ任命シ有給トスコトヲ得

第十五條　本會ハ調査研究ノ必要ニ應シ例會ノ決議ニ依リ各部ノ委員長及委員ヲ設ケ各部ニ委員長一名委員若干名ヲ置ク

委員長及委員ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名シ委員長ハ當該委員ノ互選トス

理事會ハ特殊事項ニ關シ會員外ノ專門家ヲ臨託委員トナスコトヲ得

第十六條　委員長ハ當該委員會ヲ代表シ委員長事故アルトキハ當該委員會ノ決議ニ依リ委員其職務ヲ代理ス

委員會ノ經過ハ例會ニ於テ之ヲ報告ス

委員會ノ調査研究報告ハ例會ノ決議ヲ經テ本會ノ名ヲ以テ之ヲ發表ス但シ緊急事項ニ付テハ理事會ノ承認ヲ經テ當該委員會ノ名ヲ以テスルコトヲ得

第十七條　本會ハ每月一回會員ヲ召集シ例會ヲ開キ重要事項ヲ審議シ報告會、談話會、討論會又ハ講演會ヲ催ス但理事會ハ必要ト認ムルトキハ臨時之ヲ開催スルコトヲ得

例會ニ於ケル議案其他ノ事項ハ理事會之ヲ會員ニ豫告ス但緊急事項ニ付テハ此限ニ在ラズ

第十八條　本會ハ春秋二季大會ヲ擧行ス

第十九條　本會ノ行フ事業左ノ如シ

一　建築ニ關スル諸般事項ノ調査研究

二　建築ニ關スル重要事項ノ議決

三　決議事項ノ實行促進

四　會誌ノ發刊

五　建築ニ關スル圖書ノ刊行

六　建築ニ關スル講演會ノ開催

七　建築ニ關スル展覽會ノ公開

八　建築ニ關スル視察

九　建築ニ關スル有志者ノ親睦會

十　理想的建築ノ計畫

十一　其他建築ニ關スル有益ナル事項

第二十條　會員ハ會費年額金拾八圓ヲ本會ニ醵出ス

但例會ニ出席シ難キ地方ニ在ル會員ノ會費ハ半額トス

一時ニ金弐百圓以上ヲ出ストキハ爾後前項ノ會費ヲ免ス

會員タルノ承認ヲ得タル者ハ入會金五圓ヲ本會ニ納付スベシ

特別賛助員ハ特別賛助費年額金九圓ヲ、普通賛助員ハ普通賛助費年額金六圓ヲ本會ニ前納スベシ

但六期以內ニ之ヲ分納スルコトヲ得

第二十一條　本會ノ經費ハ會費入會金寄附金賛助員其他ノ收入ヲ以テ支辨ス

本會ノ財產ハ理事長之ヲ監理ス

第二十二條　本會ノ財產債權債務及每月ノ收支ハ主計其計算書ヲ以テ翌月理事會ニ報告ス

本會ノ財產債權債務及每年ノ收支ハ理事會其決算書ヲ作リ翌年一月例會ニ於テ報告ス

第二十三條　本會及本則ニ關スル詳細ノ事項ハ例會ノ決議ニ依リ細則ニ之ヲ定ム

第二十四條　本則ハ例會ノ決議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得



# 日本エレベーター製造株式會社

大阪市東區中道川西町五百六十番地　電話南三八〇五番

## 營業種目

ヱレベーター、リフト　試置
コンベヤー　連轉各種機
（東）松捲上機械　保能檢驗
（式）架空索道及諸機械　高塔安實裝
右設計及製作

出張所　東京市丸之內東京驛前海上ビルデンヂ六階、六一九號、六二十號室　電話丸之內九六〇番　本局一二〇二番

特約販賣店　東京市麹町區永樂町　高田商會　本支店出張所

代理店　大連市山縣通百番地　日米公司　電話二一七〇・二〇四五番

代理店　朝鮮京城府長谷川町八十五番地　日米公司　電話二五三〇番



# 建築と社會　第四輯第四號目次


口繪　△……大阪市立美術館設計圖（第壹等當選配景圖及詳細圖）

〔卷頭〕……

○詩——春日癈墟……

〔論說〕……

○都市生活と住宅(續)……日本建築協會副會頭　工學博士　片岡安……二

○建築工事の施行と實費計算制設(上)……會員・建築士　小笠原鈅……九

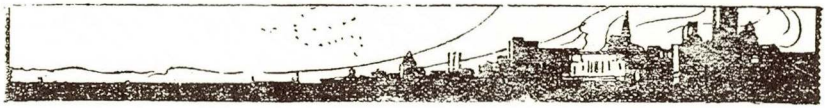
○火災保險と建築(其一)……會員　長田岩次郎……一三

○藝術生活と都市民……翠煙生……一八

——都市民の藝術生活は都市の恒久性を創る——

〔研究〕……

○法隆寺古建築に就て(補遺)……會員・工學博士　天沼俊一……二一




〔都　市〕

○將來の市加古市(11)……ウオルター・ディ・ムウデイ著……Z Y 生譯……二五

〔講　壇〕

○煉瓦屋より觀たる米國の建築材料(A)……工學士……谷口德政……三九

〔資　料〕

○英國住居法(二)……大阪市都市計畫部囑託……石原憲治……四七

〔漫　錄〕

○大西洋を見る日まで(七)……會員・工學士……波江悌夫……五五

○新聞記者としての吾れ——原稿生活物語の二——……E K S……六一

○趣味化された室內の裝飾(上)……吉村美代子……六七

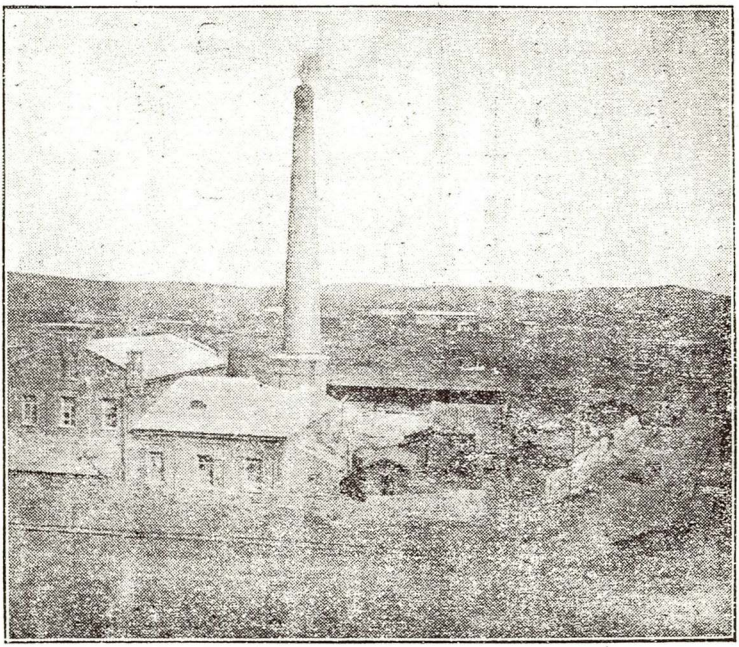
○光の世界……色盲道人……七二

○讀書法……夢古村人……七三

□相談室　□時報　□會報

# 現代建築界ノ最高權威

關東廳土木課●南滿鐵道會社●大阪府廳●市役所
其他諸官省●有力土木建築設計家各位●實驗證明



顧問技師　工學士　雨宮春雄

相談役　前野芳造

## 滿州營業課目

產

青色大理石、黑色大理石
鹿兒島產白色硅藻土
白色硅石及硅石粉、酸化マグネシューム粉末、滿蒙セメント各種、雜礦石
海水石鹼

## 舖床材料

**耐火リノリウム**（專賣特許出願中）

耐水、衛生、保温、美觀、低廉

**土木建築用防水劑**

**ボースイ**（專賣特許出願中）

品質內外品ニ優リ價格低廉

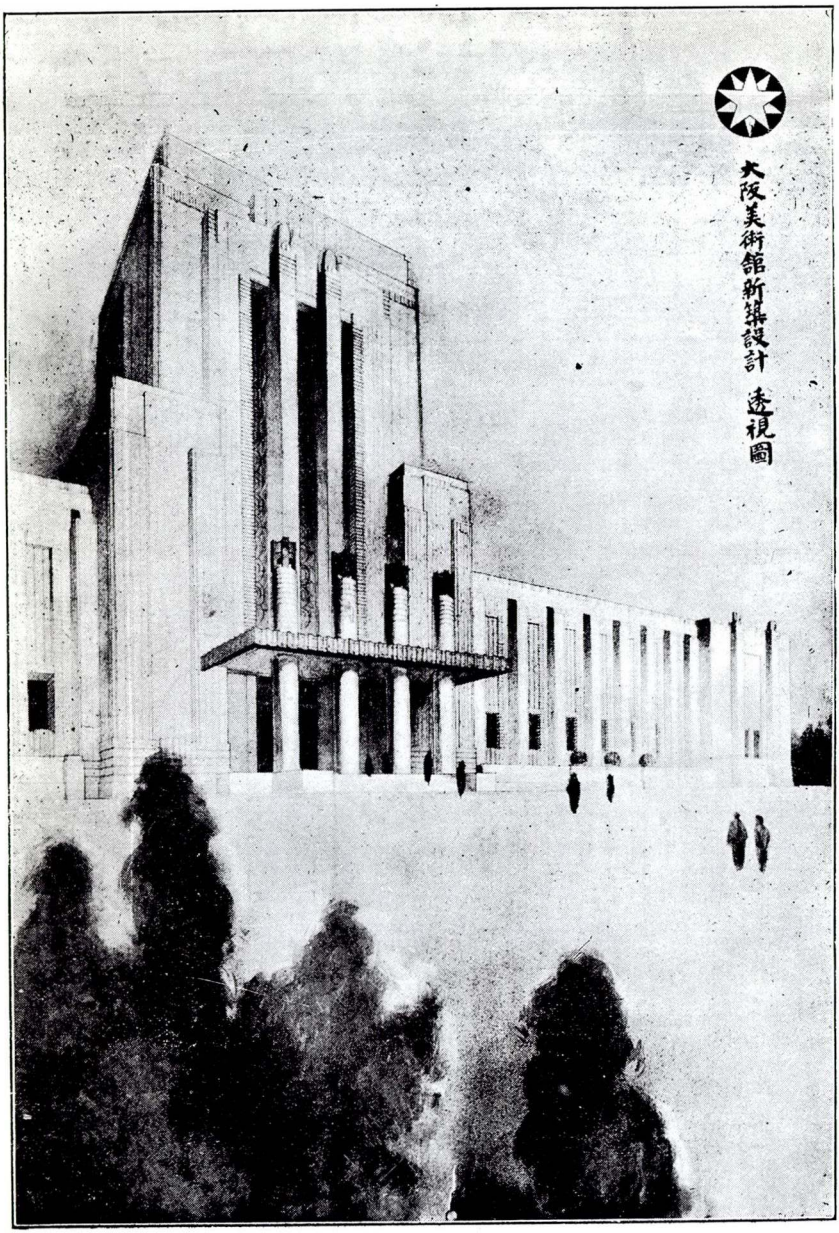
滿蒙化學研究所代理店

大阪市北區南安治川一丁目十三番地

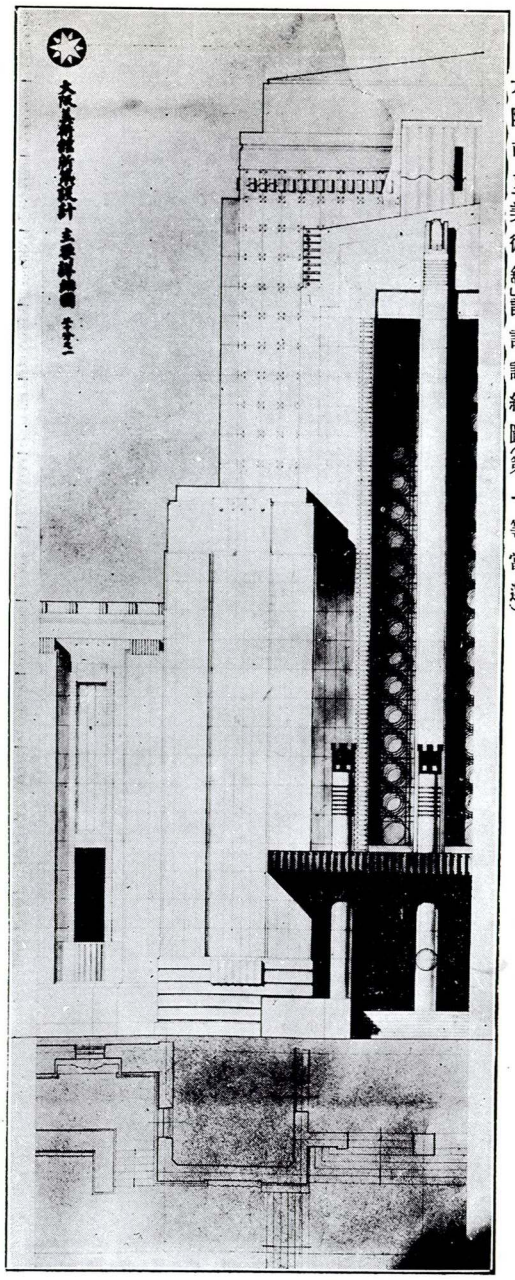
**大阪耐火リノリウム工業合資會社**

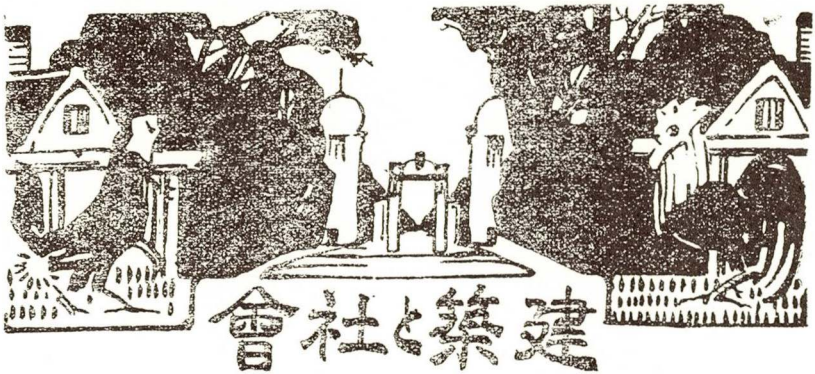
電話西（營業用）四五九
（長）二五五四
三六三三

大阪市立「美術館」設計配景圖（第一等當選）



# 大阪市立美術館設計詳細圖（第一等當選）



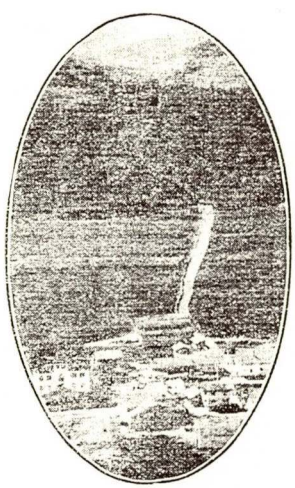



野桃無主白開花

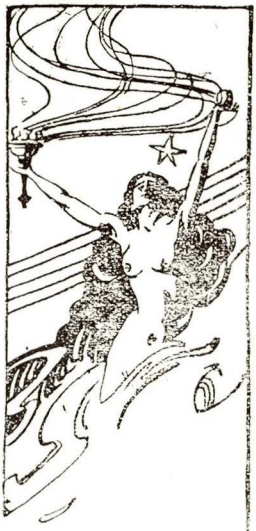
春草茫茫帶曉鴉

幾處敗垣圍廢井

向來一一是人家



——春日廢墟——



論說

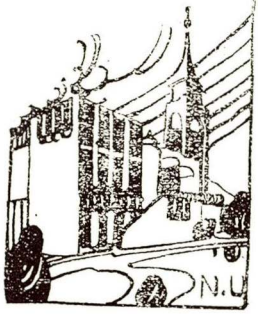
# 都市生活と住宅（續）

日本建築協會副會頭　工學博士　片岡安

一　都市生活の意義（生活改善の促進）
二　都市生活と都市計畫
三　住宅改善の機運

## 二　都市生活と都市計畫

都市生活の理想を現實すべく努力しつゝある現代文明の進路は各國共に其大方針を一にするのである



が、其手段方法に至つては千差萬別あるを免がれぬ、中には都市の形態的整理を基礎として其改良を進めんとするものもあり、或は保健衛生や社會政策的見地に立脚して諸般の改良策を樹つるもあり、其他經濟活動の利便を圖るに急なるあれば、遊樂運動の施設や救濟機關の設備を重んずるありて、何れも一長一短あるを見るのであるが、最近に至りては、其等の組織を一大系統に編成して完全なる改良網を案出せざれば到底都市生活の理想に達せられぬとが明白となつたのである。之を抽象的に言へば、市民の交通、衛生、經濟、保安の目的を同一列に取扱ひ、其適當なる組織的計畫を立案して其實現を期するを以て都市生活向上の第一義と考ふるやうになつたのである。我國に於ける都市計畫法は、遲蒔ながら斯の骨子に依りて出來上つたものと言ひ得るのである。

都市計畫案の確立と其實現は、都市生活の改良と其向上を期待する根本義であるとは殆んど凡ての人の承認する處であるけれども、其事柄の餘りに大きく又其實現と實際生活との感觸餘りに間接なる爲めに、往々にして之を感得し得ざる場合がある、隨つて市民が其都市の實際經營に於ても焦眉の急に迫るもの、經綸又は改良を以て實際的に其幸福を增進するものと考へ、上述の如き一大組織の下に各方面の改良の武歩を一齊に進めることを以て、直接の利害に關係なき不急の土木の如く考へる傾向あるは寔に已むを得ないのである。殊に都市計畫の立案は、主として都市生活改善の骨子に觸るれど、其肉體たる內容的設備を深く論せぬ爲に、益々其誤解を大ならしむる嫌なきにあらず、甚だ遺憾の事である。抑も都市計畫に於て此等の大綱を論究し、其立案を爲し、之が實現を期する眞實の目的は都市生活の向上にあるは言ふ迄もないので、其骨子を組立てるのに腐心して、其內容的施設を忘るゝが如きは間違の甚しき

ものである。もとより其立案と實行の方面に於ては、其内容的施設までも考ふる暇なきは諒とすべきもとより其内容の充實によりて初めて其計畫が生きるのであるから、都市民は豫め其諒解を有ちて之に對應せねばならぬのである。

都市計畫に於て其街路の系統を改め、其幅員を擴築し、其路面を美しく堅固に鋪裝したとて、其利用は箇々の建築物改善と共に進まざれば何等の價値を發揮せざるべく、下水道の完備するも、其市民が戸別に完全なる衛生的設備を有するに至らざれば其理想を裏切ることなるべく、又公舘地區の整然たる地割は出來たとて、善美の行政公舘が築かれて其公物を圓滑に處理し、音樂堂や劇場さては美術舘、博物舘等の建築物が出來上りて、其豐富なる内的印象を市民に與へ、各種の學校及研究所の施設を十分にして、學術的精神的訓練と其向上を圖る樣な内容的努力が充實せざれば、公舘の配置や其整理は全部形骸の立往生に聊も異らぬのである。即ち都市計畫は都市生活向上の大目的に向つて進むのであるけれども其内容的施設及其活動に俟ち初めて其効果を現すのであるから、都市生活の理想に向つて進むには先づ以て都市計畫の重大なる意義を了解すると同時に、其内容の訓練を最も深く攻究するの要がある。

近時盛んに高唱さるゝ文化生活とは、都市計畫の骨組に伴ふ肉體的及精神的内容を言ふのであると見れば、都市計畫と文化生活とは骨肉の關係又は形骸と精神の關係の如きものであると言ふことが出來る。即ち吾人の所謂都市生活の理想は、文化生活の向上を意味するのであるとも見られる。然るに世上文化生活を高唱する者は主として其内容的訓練に觸るゝを常とし、都市生活の骨子とする都市計畫の如何に重大なる意義であるかを深く考へざるやの嫌がある。甚しきに至りては都市生活の組織的綱領を十分に

會得せずして唯部分的に市民の文化生活を向上せしめんとするものさへある。要するに現代文明の進路は一貫せる組織の下に文化生活の向上を期待せんとするにあるにも拘らず、往々にして其組織的運動又は努力を眞實に理解せざる者の多きを遺憾とする。吾人の都市計畫の急要を高唱する時、一般に其内容的施設及訓練に說き及ばざるは其事柄を無視するにあらずして、其骨組の構成に力を盡すを第一義とし其内容に及ぶ暇なき爲に屢々世人の誤解を來し、竟には、文化生活向上の運動と全く別種のものゝ如き感を生ずるのではないかと想はれる。歐米の各都市に於ても、都市計畫を以て文化生活の向上を招徠する基礎的事業なりとする大體の主義には何れも一致して居るけれども、其手段方法必ずしも同一のものにあらざるは勿論、其施設の出發點に於てさへも距りの甚しきものあるを見るのである。此處には其計畫や施設に就て述べる餘裕を有たないが、唯民衆的文化生活向上に關する凡ゆる運動が其根源を都市計畫に發することゝ、社會政策的施設の普及及個人の住宅内容の改善が現代文明人の最も大きな努力を拂ひつゝあるものなることを述べるに止める。

## 三　住宅改善の機運

都市計畫による骨組の改善と相並行して、其内容的施設の十分に行屆くことが現代の痛切なる要求であるは上述の通りである、而して其内容的施設の中で我國民の最も甚しく現代文明より取遺されて居るものを其住宅の設備とする。もとより歐米の諸都市に於ても現代の文化に並行して十分の設備あるやうな住宅が相當に行渡つて居ると言ふのではない、彼地に於て十數年來其改善住宅の要求急切なるものあ

りしに拘はらず、又國家若くは公共團體或は慈善的行爲の計畫の下に着々其實行を勵みつゝ來りしにも拘らず、又大戰中及其以後の緊張せる家屋要求の叫び殷なりしにも拘はらず、何れの都市にても今や住宅缺乏は古今未曾有の狀況であると傳へられて居るのである。住宅政策の最も徹底的に行はれたる英國に於て大戰後約五十萬箇の住宅缺乏ありと言はれた位であるから、他に佛獨伊等の歐洲の國家が凡てそれ以上に住宅の缺乏を感じて居ることと想像される。而して其缺乏と稱するは所謂現代の文化生活又は都市生活を味ふべき適當なる住宅の缺乏を意味するのは言ふまでもない。

大戰の前後に亘り、各國の政府、公共團體又は各種の專門學會等に於て、現代の文化生活に副ふべき適當なる住宅の設計案を懸賞にて募集し又は其對案を作成し、其中の適當なるものを實現せしむべく努力したことは著しき事蹟であつて、何れも其住宅の改善と補充の爲に相當の成績を擧げたのである、併し何れの都市にても現代の痛切なる要求に適合するまでには、まだ〳〵前途の遼遠なるを見るのである。

飜て我國の現狀を觀るに、其住宅は過去數百年間の特種文明の遺物其儘にして、少しも現代文明の洗煉を受けて居ないのである。吾人は其活動に於て已に國際的生活に入り、其國防計畫に於て、其外交政策に於て、又其產業經濟の組織に於て、歐米各國と對等に全く世界的文明の潮流に棹し、其航海を持續しつゝあるにも拘らず、其內容的實質の最も重大なる部分を占むる日々の家庭生活は全然特性文明の遺習に拘泥して居るのである、其不自然不調和又不愉快にして到底現代文化の方向に一致せざるは論ずる迄もなきことである。唯之を趣味の方面より見又氣分にのみ生きる時には、或は以て得たりとなし得ざるにあらず、我國特種の東洋文明によりて久しき間によく洗煉されたる木造の輕便住宅は恐らく世界を通じて

發見し得ざる程度の輕妙風雅の趣味を有するものたるべく、又其交換式構造の發達せることは如何なる經濟的建築物も我國都市の小住宅に及ぶものはないであらうと想はれる。併し之をよく考ふれば、住宅は唯其内外の輕妙風雅なる構造物であることを以て滿足すべきものではなく、其實質が吾人の家庭生活の眞實な目的を達するに近きものでなくてはならぬのに、現在の日本住宅の殆んど凡てが其目的を達するに甚だ緣遠き構造物であるを遺憾とする。之を詳細に亘りて例示すれば際限なき事ながら、一二の要點に就てのみ之を考ふるに、住宅の第一理想は其家庭生活の安靜を外部に對して保護する事、其内部に於ける各樣な安全と幸福を保障することである。然るに、我國從來の住宅に於ては、此等の家庭生活保護と其幸福增進に就ては全然措て問はざるの傾向著しく、寒暑の防禦さへも十分に攻究されて居ない、中に就て最も滑稽なるは、一般の公的事務又は職業的業務に於ては立式姿勢にありながら、家庭に於ては折膝式に早變りをなしつゝあることである。此等の矛盾は其服裝にも影響し、吾人の生活が日々二重三重に早變りをなしつゝあるの狀態である。

歐米に於ては現在其時代の進步に伴ふべき適當なる住宅の要求殷なる時に、我國は實際上世界的活動に入りながら其住宅に對してのみは數百年前の昔を偲びつゝある此一大矛盾は、什う考へても之を取除くの覺悟を有たねばならぬのである。我國に於て其生活狀態の改善殊に住宅改善の問題は、可成り久しき以前より屢々之を耳にしたのであるが、今日迄何等の反響なく葬り去られし事實は、吾人の最も深く鑒みるを要する點である。從來唱へられし住宅改善論者の叫びは大體これを二つに大別し得るかと思はれる、其一は西洋心醉の餘り日本式の凡てのものを葬り去らんとするハイカラ式見地から來たものと、

他は理論的に我國住宅の缺點を剔出して之を罵倒し、何等の對案又は改良案を案出せざりしものと此二つである。其孰れもが幾分の覺醒をも與へ得ざりしは或は當然であつたと言はねばならぬ。今や我國の世界的地位の益々向上した爲め時機は益々切迫し、首尾相一貫したる文化政策の立案と其實現を急がねばならぬのであるから、此處に一大自覺を以て住宅改善の努力に從事するの急務なるを感ぜざるを得ない。吾人は從來の如き西洋式住宅の直寫を以て甘んずべきではないと同時に、從來の日本式建築の延長を夢みるを許さぬのである。宜しく其風俗習慣の改善すべきものと共に、生活全體の調律的改善に共鳴すべき適當なる住宅建築の立案を急ぎ、其國際的活動と並行したる家庭生活に就くべき基礎を築かねばならぬのである。今や、外に、國際聯盟の大舞臺は開展して、凡ゆる文物制度は世界的に其改造の機運に迫り、內は、生活の改善を要求すること痛切なるものあるに際し、我國現時の住宅改善の立案をなすこと、維れ吾人の最大急務でなくてはならぬ。（了）

## 居住の本日た見の人外

「お寺も小さいし見すぼらしい。まして通常の人家は木造で、大抵一階造り、稀に二階建がある位である。併し寺の塔には多階のものもある。壁の代りに襖や障子があつて、部屋を大きくしたり小さくしたり、自由に出來るやうになつてゐる。部屋の中には數へる程の家具しか置いてない。併し疊の上は綺麗に掃除して、靴足袋の外、上ることを許されない。靴や長靴は外で脫がなければならぬ。部屋の障子を開けると樣側がある。障子は紙で張つてある。雨天の時は雨戶を締るので部屋が暗くなる。隨分冬は寒いのに、日本人は暖爐といふものを知らぬ、唯火鉢があるばかり。屋根には一つの穴を明けて煙突の代用とする。」

日本は皆是れだと決めて了ふのだから耐らない。天窓を穴だと云つたのは却々振つてゐる。

# 建築工事の施行と實費計算制度（上）

會員　建築士　小笠原　鋭朗

從來建築の工事を施行するに或る一部には直營の方法を以てする處もある樣ですが大體一般に之を請負に付して施行する事になつて居ります。

其請負施行の方法は皆樣能く御承知の通り大抵二三の見積を徵し合せ其一番最低價格のものに請負施行を依賴する事に殆んど決つて居ります儕此請負施行の方法は大體に於て建築主又は之を監督するものに於て割合に手數の掛らぬ施行法で金錢の仕拂等にも其請負金額の幾分宛を部分拂にするとか又は短期の工事なら其工事が完成したるときに一時に之を仕拂ひ極めて手數のかゝらぬ方法で御座います。

且又一旦其請負金額を決定した以上は物價の變動がありましても一切之に關せず尙又請負者が其工事に就てどの位儲て居るか將亦損をなすに立到らざりしかなどの事は一切顧慮しない樣な事になつて居ります。

大體建築工事と申すものは他の工事と異りまして大變に其內容が復雜して居ります殊に美術的建築等に至りましては特に其材料施工共餘程愼重なる取調をなすにあらざれば到底正確なる價格を見出す事は六ケ敷事で況んや近年の樣に物價の變動甚敷きに際し其工事期間一ケ年以上もかゝるものに於ては之を一式請負の金額で決定する事がどうも無理不徹底の極に考へられます尙又其見積も多くの場合には大抵大急ぎで見積りますから自然其計算に多少の無理があるべきもので果して此最低價格と云ふ事が最も適當なる價格の決定法と申すべきかも疑問であるかと思ひます。

併し近來は建築主に於ても大分此邊の理由を諒解せられて時に依り必ずしも最低價格一點張でなく其内容を調査して最低にあらざるも正當なりと認むる見積價格のものに其施行を命ずると云ふ場合も生じたる樣に見受けますが之も却々議論ある事で一寸六ケ敷いから矢張官廳其他一般は皆最低者を取る事になつて居ります爲に其最低見積の實質には隨分工事の實施上に無理なる影響を及ぼすものも多くない樣に考へます。

右の如き方法で請負たる工事が幸に比較的簡單な仕事で且短期間のもので其見積も稍正當に出來た者なら其工事も設計通りに實施し得らるゝでせうが先づ大抵の場合には意外の儲がある時の外は成可く請負金額の以内で仕上げて損をせざる樣にとの方針を取りますから自然に成可く安く成可く簡單に施行せん事を慮る傾向を生じます併し之は自然の理で萬止むなき事と思ひます其程度が監督技師の認定上差支なき限度内の施工なら宜敷も之を尚一層其利益の多からん事を望むの結果竟に設計よりも程度の落ちたる施工に立到らしむる場合を生ずる等の事ありて茲に現場の監督者と衝突を來す樣な事になつたり又は建築主の不滿を買ふ樣な事にもなります。のみならず請負と云ふ制度が前記の通りどの位儲けて居るものやら果して又損に近き程度で施行して居るやら不明なるが爲に常に請負者は總て儲けて居るからと云ふ頭で

建築主は何時でもヨリよき仕上を要求し少しでも餘計な施行を望むようになり現場監督者はヨリよき施工を強ゆるが如き傾を生せしめます

斯の事柄が不絶建築工事の施行の上に付きまつばり工事の進捗上に非常なる障害を起して居ります。

尚又請負工事に於ては場合に依り請負者に於て建築主の無理な要求も御無理御尤で餘計の事でも施行せねばならぬ事もある樣に聞きます所謂一時の損をしても亦あとの事もあるからと云ふ樣の場合もある樣ですっ

右の如く從來の請負制度に就き種々考へますれば

どうも不徹底な事が多く御座います。

私は多年建築工事に關係して居りまして凡て公平に且親切に施工をすると云ふ事が我々技術者の立場でありますから何とかして實際の施行法を甘くやりたいと望んで居りますが何分金錢上に關係を有つた事ですから其方法も却々六ケ敷いのです併し其方法が六ケ敷いとのみ申していつまでも逡巡して居ては何れの時か之を實施する事が出來ない樣になりますから先づ兎も角も其實行に取掛り漸次之を改善して廣く一般に用ひらるる樣に漸進せしむる方策を採る事が必要だと信じました。

其施工方法とは皆樣も能く御承知の實費計算法で斯の方法のもとに建築工事の施行をしたい從て從來の請負制度を止めたいと思ひますのでございます現在の請負業者諸君は一般建築工事の施行に際して從來の請負者でなく工事の施行者として其請負制度を廢止し其代りに確實なる利益として其工事費總額の一割なり或は一割五分なり適當の歩合を其工事の施行手數料として收得し工事は一々凡てを實費計算にて施行さるゝ事であります。

斯の方法は從來の請負制度に比し利益の分量は或は少なきやも知れませぬが併し最も確實であります從來の請負制度は儲け得らるゝ丈は儲け得られませうが併し又損する時もありまして一種の投機に近かき方法かと思はれます故に今日に於ては斯の實費計算法が最も時宜に適したる方法でないかと思ひます。

乍併之を實行するには最も公平謹直で所謂人格を以てせざれば其實效を奏する事が出來ないかと思ひます故に世間一般猜疑の眼に對して斯の方法を諒解せしむるには其手段が餘程困難であります

夫れが爲に私も今日まで之が實行を唱導するに躊躇して居りました尙又請負業者諸君に於ても或は已にかゝる方法に依り一日も早く出發せられんとせしも未だ其處に到らざりしには非るかとも思惟する次第であります。

勿論已に業に請負業者諸君に於かれましても斯の方法に依り實際に施行して居らるゝ處も相當澤山にあり尙又斯の方法が建築工事の施行に最も適當するものと申して居らるゝ方も澤山聞及んで居

りますが之が實行の遲きは前述の樣な成行きと尙又計算事務上の手數が割合に繁多なる等にも原因する事かと思ひます。

依て斯の實費計算法を建築工事の施行の一般に適用するには如何なる手續をなすべきか其方法に就き聊か愚考を申上げ諸彦の御指導を受け一面には又果して斯の實費計算制度が建築工事の施行に適當なるや否も御裁斷を仰ぎ度いと思ひます。

（つづく）

## 世界の最高建築

淺草の十二階が高いと思はれてゐると話にならぬ。日本にだつて、十二階より高い建物がある。吳の海軍工廠の大砲を製造する建築はアノ淺草の十二階をそつくり其儘入れて尙上の方が幾十尺とか餘るといふ。處が紐育のスカイスクレパーは一時シンガーが覇を稱へてゐたのだが、忽にしてメトロポリタンの四十階が出來て鼻を折られた。併しこれも束の間、次に出來たウールワース・ビルデングに凌駕されて了つた。處が、又最近になつて更に偉大なるパン・アメリカン・ステーツ協會の大建築が出來、最高を威張つてゐた前述のものより更に高きこと百四十呎全體の高さが九百一呎、其工費は實に八百八十萬とか九百萬とか云はれてゐる。

# 火災保險と建築（其壹）

會員　長田岩次郎

現今我國の火災保險業者が、建築物を保險する際、如何なる標準に據り、保險料を決定するかと云ふ事を、吾々建築關係者が知て置かば、便宜を得る事が有ると思ふて二三の保險業者に質問した處、業務上の秘密であると稱して敎へてくれなんだが、或る機會に其を知る事が出來たから、左に少々記載する事とする。

普通物件に於ては建物の構造により左の如く四級に分別して料金を決定し居る次第である。

**第一級　煉瓦造**　鐵筋コンクリート造　土藏造又は石造にして屋根は瓦　スレート　亞鉛引鐵板　金屬瓦　鐵筋コンクリート又はアスベスト其他不燃性礦物質材料を以て葺きたるか若くはコンクリートを下塗とし更に表面を不燃質物にて仕上げたる建物を云ふ

**注意**　第一級構造の建物に限り總ての出入口又は窓に防火戸及防火扉を備ふる時は一割の割引を行ふことを得

**第二級　煉化造**　石造　鐵筋コンクリート造又は土藏造にして必ずしも是等各種構造の定義には適合せざるものを云ふ

屋根は第一級記載に同じ

**第三級　木骨にして煉瓦張**　石張　竪瓦セメント塗又は竪瓦漆喰塗　又は鐵網コンクリート造　及鐵骨にして金屬又は其他不燃質物を以て周壁としたる建物を云ふ

屋根は第一級記載に同じ

**第四級**　前記各級以外の構造にして屋根は第一級記載に同じき建物を云ふ

而して右の外二馬力以上の動力（平押以外の）を

使用する工場物件（綿絹毛紡織工場を除く）に就ては左の如く三級に級別して料率を定めて居るのである。

第一級　普通物件の第一級と同一條件なれども

注意事項の一割引云々の條項なく

第二級　普通物件の二級と三級併合したる條件

第三級　普通物件の第四級に相當するもの

右三級を通じての注意事項として

第一級構造の料率を適用せらるべき建物が工業上の作業を行ふ第二級又は第三級構造の料率を適用せらるべき建物と連絡する場合には是等の連絡建物は總て其中の最高料率を適用せらるべきものとす

第二級構造の料率を適用せらるべき建物が第三級構造の料率を適用せらるべき建物と連絡する場合には該も三級構造の建物内に動力使用の作業を行ふと否とに拘はらず是等の連絡建物は總て其中の最高料率を適用せらるべきものとす

以上の如く普通建築に於ては四級に、工場建築に於ては三級に、等級を區別して保險料金を決定するのである。勿論此以外に空地割引或は危險品を貯藏する倉庫に對する割增等の有るは申す迄もない事である。左に一例を示すと

普通建築物一ケ年百圓に對する保險料金

| 地域 | 第一級 | 第二級 | 第三級 | 第四級 |
|---|---|---|---|---|
| | 錢 | 錢 | 錢 | 錢 |
| 兵庫縣 神戸市 一等地 | 一一〇 | 一二五 | 一三〇 | 一三五 |
| 兵庫縣 神戸市 二等地 | 一二五 | 一三〇 | 一四〇 | 一五〇 |
| 兵庫縣 神戸市 三等地 | 一三〇 | 一四〇 | 一五〇 | 一七〇 |
| 兵庫縣 神戸市 四等地 | 一三五 | 一五〇 | 一八〇 | 一、一〇 |
| 兵庫縣 神戸市 五等地 | 一五〇 | 一八〇 | 一、一〇 | 一、三五 |
| 兵庫縣 但馬國丹波國 | 一一〇 | 一二五 | 一三〇 | 一五〇 |
| 兵庫縣 其他 | 一一〇 | 一二五 | 一三〇 | 一四〇 |
| 岡山 | 一一〇 | 一二五 | 一三〇 | 一四〇 |
| 廣島 吳市尾道市 | 一二五 | 一三〇 | 一四〇 | 一六〇 |
| 廣島 其他 | 一一〇 | 一二五 | 一三〇 | 一四〇 |
| 香川 | 一一〇 | 一二五 | 一三〇 | 一四〇 |
| 愛媛 | 一一〇 | 一二五 | 一三〇 | 一五〇 |

（神戸市の一等地より五等地迄の區別は別紙地圖の通）

工場建築物一ケ年百圓に對する保險料金

| 工場の種類 | 第一級 | 第二級 | 第三級 |
|---|---|---|---|
| セルロイド工場 | 二、五〇 | 三、二五 | 四、〇〇 |
| 綿繰工場 | 二、五〇 | 三、二五 | 四、〇〇 |
| 悼腦工場 | 二、〇〇 | 二、八〇 | 三、〇〇 |
| 燐寸工場 | 二、〇〇 | 三、〇〇 | 四、〇〇 |
| 護謨工場 | 二、〇〇 | 三、〇〇 | 四、〇〇 |
| 刷毛工場 | 一、五〇 | 二、〇〇 | 二、五〇 |
| カルシウム・カーバイト工場 | 一、五〇 | 二、二五 | 三、〇〇 |
| 挽材其他木工場 | 一、五〇 | 二、二五 | 三、〇〇 |
| 酒精製造所 | 一、二五 | 一、九〇 | 二、五〇 |
| 危險なる化學工場 | 一、二五 | 一、六五 | 二、〇〇 |
| 蠟燭製造所 | 一、〇〇 | 一、五〇 | 二、〇〇 |
| アスファルト工場 | 一、〇〇 | 一、五〇 | 二、〇〇 |
| 製紙或は鉛筆工場 | 七五 | 一、二五 | 一、五〇 |
| 電線工場 | 七五 | 一、二五 | 一、五〇 |
| 電球工場 | 五〇 | 一、〇五 | 一、五〇 |
| 硝子工場 | 五〇 | 七五 | 一、〇〇 |
| 煙草工場 | 五〇 | 七五 | 一、〇〇 |
| セメント工場 | 五〇 | 九〇 | 一、二五 |
| 瓦斯製造鑄鐵工場等 | 三五 | 四五 | 六〇 |

（工場の種類は右の外多數に細別してあるので其の總數は百數種類あると御承知願たい）

依つて今神戸市の一等地に第一級の價格壹萬圓の建築物が有るとすると、其の保險料は一ケ年貳拾圓であるが、若し其が五等地に有る第四級の建築物とすると、其價格は同じ壹萬圓の建物でも保險料は貳百五拾圓取らるゝ事になるのである。然るに此建物の周圍が十間以上の空地か又は三方二十間以上の空地なれば、前者は保險料が拾五圓となり、後者は保險料壹百貳拾五圓に割引さるゝのであつて、

此等の割引は左の特別料率の規程によつて割引さるゝのである。

特別料率

（離隔せる建物）

本料率に準據すべき建物（及其收容動產）に對しては左記の場合に於て特別割引を行ふことを得

北海道。東北六縣（宮城、福島、巖手、山形、

秋田、及青森）石川、富山、福井、（若狹國を除く）及新潟の四縣に所在するものは

周圍貳拾間以上又は三方四十間以上の空地を有するとき……六割引

周圍十間以上又は三方貳十間以上の空地を有するときは……參割引

前記以外の各區（即ち各縣）に所在するものは

周圍十間以上又は三方貳十間以上の空地を有するとき……五割引

周圍五間以上又は三方十間以上の空地を有するとき……貳割引

注意一、（イ）最低料率は如何なる場合に於ても第一級及第二級建物に對して十五錢（百圓に付）第三級及第四級建物に對して二十五錢（百圓に付）を下ることを得ず

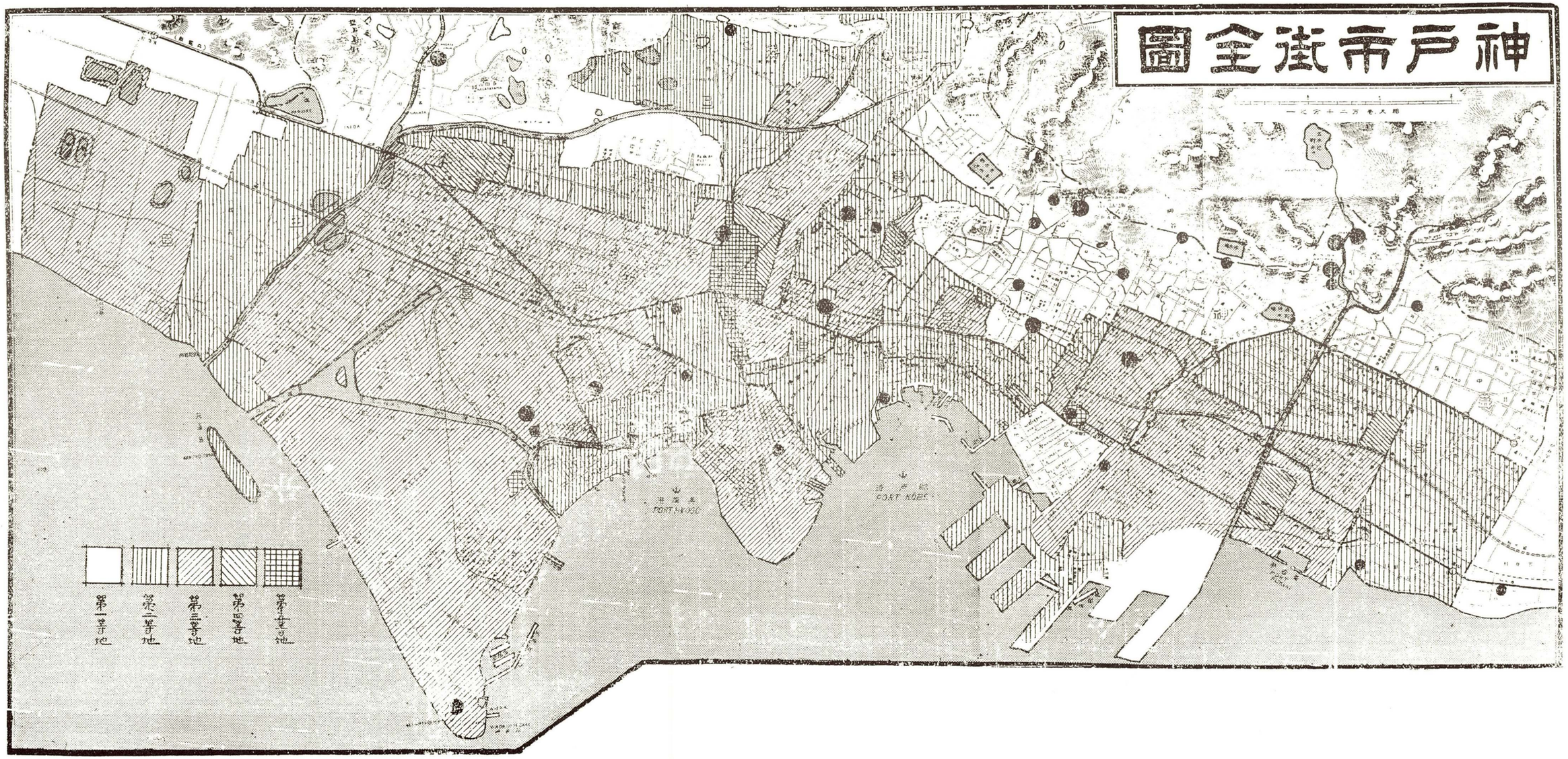
（ロ）職業割增（後に說明す）を徵せらるべき物件の最低料率は如何なる場合に於ても職業割增を包含し第一級及第二級建物に對して卅五錢（百圓に付）第三級及第四級建物に對しては四十五錢（百圓に付）を下ることを得ず

注意二、空地間隔の計算は當該建物又は其附屬建物の最近箇處即ち軒を有する建物に在ては其軒先より他の建物の最近箇處に到る距離を計るべきものとす

注意三、同一構內に所在する數箇の建物にして全部同一人の占有に屬するときは是等の建物は一團として之を一箇の建物又は危險と看做し、空地割引に就ては是等一團に屬する建物相互間の距離如何に拘らず此の一團と之れに屬せざる建物との空地間隔に據りて之を行ふことを得

注意四、第四構級造の建物にして一棟に二人以上の借家人によりて占有せらるゝときは（例へば棟割長屋の如し）其建物に對しては空地割引を行ふこと

# 神戸市街全圖



を得す

此空地割引の外以下順次述ぶる處の職業割増の建築物の高さによる割増、工事中の割増、可燃質葺屋根の割増等、曰く何曰く何と種々規程して保險料率を協定し、古顔の保險會社が（我國最古の火災保險會社は明治二十年創立の東京火災保險會社次は二十四年創立の明治火災保險會社其次は明治二十五年創立の日本火災保險會社なり）幹部と成り其の協定を破らん樣に勉め、共同火災（？）の如き協定に加はらざる會社の再保險を取らざるようにしたり抔して、表面は固く協定を守つて居る樣であるが、實際には却々協定が嚴格に保てないらしいのである。御互に少々づゝ協定率を破つてゐるので相互に見て見ぬ振りをしてる位の程度ではないかと思はれるのである。現に小生なども友人中に協定率以下で保險に入つてる者二三を知つてる位である。

右二三の友人は揃ひも揃つて何れも空地割引の點で割引を受けあるが、實際は割引を受けるだけの空地がないのである。例へば二方は五間以上の空地が有るが二方は一間半か二間位の空地しか無いのに、周圍五間以上の空地あると同樣の割引を受けてるのである。

是は何れも郡部であるが、市街地では空地割引で協定率を破ると目立つ爲か餘り無い樣であり、建物の級別で多少手心をして居るらしいのであるが其等は別問題として、以下順次各種割増料金に就きて記載し最後に、保險業者が定義せる鐵筋、コンクリート建築煉化石造建築土藏造其他防火扉の構造同施行規則等に付市街地建築物法、同施行令、其他細則との比較を示す事とせん。（つゞく）

「行春の逡巡として遲さくら

○いろ〳〵の人見る花の山路かな

○櫻咲く中や檣夫　飯煙

# 藝術生活と都市民

……都市民の藝術生活は都市の恒久性を創る……

翠煙生

藝術は、藝術の爲の藝術ではない。所謂藝術家てふ一階級のモノポリーでもなければ、餘伎でもない。されば、繪畫と彫刻と、劇と音樂と、扨ては所謂文藝抔も、藝術の衆徒でこそあれ、其專占者ではない。而して、又、藝術は、所謂藝術家に多く見る處の、感傷、悲哀、享樂、廢頽、沒常識抔の傾向氣分に生くるのが、藝術本來の生命ではない。世の藝術家なる者に、得て斯ういふ氣分的傾向のあるのは事實であるけれども、それは、所詮藝術といふものが、人間の普遍性を脫して、否な、寧ろ、人間の生活が藝術味を喪ひ、藝術生活が、人間としての普遍生活外の一つの生活と見るより生ずる畸形者なのである。彼等は、自己の藝術といふ事には何處迄も同情を有ち、飽迄も之を高調せなくば措かないが、他人のそれに對しては得て理解もなければ勿論同情もない、要するに、斯る人達は、藝術生活其ものと、藝術生活の形式それ自躰とを履き違へてゐるのだ。藝術は、何處迄も普遍的なものであり、頗る包容的なものである。即ち、我等人間の本然の生活は、皆藝術の生活であり、又爾かあらねばならぬ。現代多くの人達が、さして何の興味もない何の感激もない生活に血眼になつてゐるのは、人間本然の生活でなくして、それは、畢竟、方便な生活であり、藝術を喪つた生活といふのは、則ち斯の本然な人間味を喪つた生活を謂ふのである。左りとて、わたくしは、今の所謂藝術家の凡てが、人間の方便生活から分離した眞善なる生活者であるとは云はない。要は、藝術生活といふことが、人間生活としての本然な生活であり、それが、普遍的な生活である

べき筈でなければならぬ。今日、藝術といふものをモノポリーしてゐるかの如く、而して所謂亦藝術家階級の外藝術無きが如く思惟し、本然な生活を或る形式に藉りて外部に創造する處の一衆徴に過ぎない繪畫や音樂や彫刻や劇乃至は文藝抔でなくば、藝術生活でない、と觀じてゐる間違ひを云ふたのである。

■都市は、都市の表現的生活の形式奈何によりて工業都市とも、商業都市とも、乃至は其他の經濟都市とも稱へられてゐるが、由來個人生活が、眞に自己の個性を淘汰し淳化して、眞善の生活は其生活の基調を置き、是よりして外部に種々な生活形式となつて現はれるのでなく、則ち、斯の基調よりして外部に自己の生活を創造するのでなく、恰當潤ひ茂る緑りの岳を望み乍らも、熱砂蒸す曠野に息をつまらして、金鑛でも見付けむと焦燥する漂浪ひの人に似てゐるやうに、現代の都市生活も、斯ういふ傾向を有して、實は、甚だ無趣味な焦燥な無信念な無階調な生活である。多くを語るの要はない、紐育が谷底の都市生活で、凡ゆる罪悪、潤ひのない生活、斯ういふ生産場所として引合ひに出す迄もない、日本の大都市が、加速度の膨脹を遂ぐるのは、或反面に、焦燥生活と方便生活な都市民を産むでゐるのである。則ち、都市民として其本然の生活たる藝術生活は亡はれ行きつゝある。都市の表現的生活が、工業都市であらうとも、商業都市であらうとも、又何であらうとも、それは必ずしも、都市民本然な生活の外部創造ではない。云ひ換ゆれば、都市民の藝術味ある生活ではない。一個人が、興趣も自信もない仕事にすら、或目的の爲には、其凡てを捧げて、奈何にも之が彼れの生活の全部であるかの如く見ゆるように、都市民が工商都市や奈何に大經濟都市を創るとも、それは、必ずしも、其都市民の眞實な生活の形式とは云へない。所詮は、それが、彼等都市民の藝術生活であるか否なかに仍つて價値付けられるに在る。而して、個人の方便生活、虚僞な生活が呪ひであるように、斯る都市生活は實に禍ひであり、今更羅馬都市の哀史をお引合ひに出す迄もない事である。

都市の外面的生活の改善は、歸する處住居の問題である、之と同時に、其内面的生活の改善は絶高無上の倫理に俟たなければならぬ。今日の所謂『文化』運動といふことが、何處まで思想の範圍を有してゐるか、不肖わたくしには明確に判らぬけれども、單なる精神運動や、抽象的な文化運動では、亡びつゝある都市民の藝術生活即ち眞善な外部創造生活を挽回し、又は之を與ふる事は、餘程困難事である。普遍的標準よりせば、是と同時に都市生活の物的問題、所詮は住居問題の解決に在る。所謂都市計畫とは、都市生活の物的改善問題を謂ふのである。されば、少くとも、之と併行して都市の生活を藝術的ならしむる上に於て、則ち『徹底文化』ともいふべき最高な精神運動を要する。而して其『徹底文化』主義たる最高な精神運動とは宗教運動に外ならぬ。

都市は、少くとも文化の中心である、淵源地である。世界文化の基調は、希臘都市殊にアデンスに發したとも云つて可い。今日の勞働運動の思想的基調は、遠く佛都巴里に叫ばれたマルセーユの革命歌に發したとも云つて可い。更に夫れ、今日の文明的工業は、英京の紡織機械の發明が源流であるとも云へる。要するに、都市は、斯の如く化育性を有して居り、而して亦永久性を有してゐる形骸の都市は、徒に史籍の頁を汚すに過ぎない時は來るとも、都市の育み遺せる其都市精神は、後世縱し種々相に變化するとも、其中核は、恒久にして、後代の化育に獻替する處があらう。是ぞ、眞に『都市の恒久性』にして、亦都市民藝術生活の遺功である。然らずして、都市民自己の享樂的生活としての都市であり、乃至は、功利を追ふの生活としての都市であつたならば、廢墟ボンペイ市が千載の後、徒らに當時の精神的廢頽都市を語る外、何ものも話さないように、醜辱の史籍を今より自ら創りつゝあるのだ、幷は、與に無窮に生きむとする處の吾等の耐ゆる處でない。

春の夜や
皷しらべる
誰が家



# 法隆寺古建築に就て（補遺）

工學博士　天沼俊一

（研究）

次に東院の本堂たる**夢殿**に移ります。天平十一年僧行信によつて創立せられた後、再三再四の修補を經て現存してゐます、二重八角の石壇は、其様式は昔の通りでせうが材料は花崗岩で、後世のものです、壇上の敷石に凝灰岩が殘つてゐます。内部も二重の石壇があり、床は敷石ですが、此は全部凝灰岩ですから當初のまゝです。内部の石壇は二重共束石が入つてゐて所謂壇上積になつて居り、最早金堂・塔の上壇の様に束石なし（飛鳥式石壇）ではありません。建物の外部は大部分鎌倉時代の修繕の時變つた様ですが、屋上の露盤の制は珍らしきものである事はどなたも御承知でせう。

本尊は木彫漆箔救世觀音の立像で、殊に其寶冠や背光は有名であります、勿論飛鳥時代のもの、但し其厨子はずつと降つて江戸時代です。創立し

た行信僧都の座像（奈良時代）、及び道詮律師の座像（平安時代）は共に塑像です、平安時代の道詮の塑像は珍らしいです。

夢殿の裏には

**舎利殿**・**繪殿**　が一つ屋根の下にあります、だから正面七間の長い建物ですが、中央の一間は通路で、夫れを昔しから「造合（ツクリアヒ）の間」と呼んでゐますそして其通路の東の三間三面が舎利殿で、西の三間二面が繪殿です。

**舎利殿**には、寺の最も貴重品たる所謂「南無佛の舎利」が安置してあるので、此舎利は高さ三寸許りの水晶の**五輪塔**の水輪の中に納められ、數重の錦襴の袋で覆ひ、非常に叮重にして、内陣佛壇上の厨子内に祀つてあります。佛壇の羽目板には格狹間を入れ、其内に金銅半肉の孔雀が取りつけられてあります、此時代の此種の格狹間は和歌山縣の淨妙寺（淡草郡箕島町大字小豆島（アヅシマ）所在）本堂の夫れにありますが、總ての點に於いて、殘念ながら夫れより劣つてゐます。

繪殿の内陣には　聖德太子の御一代記を描いた非常に興味のある畫が壁一面に貼つてある、昔しのは先年剝して宮内省へ献納したから、今あるのは寫しです、夫れでも却々面白い。

兩殿共扉の八双・定規縁の四葉・扉の鍵孔の長手の鐵具等却々いゝ形ですから、大に參考になります。

其直後の

**傳法堂**　は奈良時代の建築で　元とは講堂といひ光明皇后の御母橘大夫人の住宅を移建したといふ傳說があり、有名な建物であります。

講堂をいつ頃から傳法堂と呼んだかに就ては、確實な事は判りませんが、屋根瓦の銘文によると嘉吉二年のものには何れも講堂（カタウ又はカウタウ等）と記し、文安三年のものには傳法室（レン平タ又は平ウリシ（法隆寺）ノレン平タ等）と記してありますから、多分此頃から改稱されたのではあるまいかと思ひます。『一陽集』にも「後世改號傳法堂歟」とあります、どうも記錄上からは確實な事を未だ發見致しません。

七間四面大斗肘木單層切妻造、内外丹塗の至極簡單な建物ですが、南側即ち正面に椽がついてゐる、内部の床は板張です。寺院建築に椽をつけたり床を張つたりしだしたのは、平安時代からですから、まだ此時代に斯樣な式はないのです。尤も只今の椽は隨分粗末なもので巾も狹いから、後に補つたものでせうが、兎に角椽がなければ内部へ入るのに入口の扉が高いから都合が惡い。一方内部の板床はどうかといふに、いろ〳〵調べてみましても原と石や瓦を敷いた形跡はない、だから此は初めから寺の建物ではなく、當代貴人の住宅であつたのであらう、といふ事になつてゐます。併し又一方、此建物を此處へ移した時斯樣に改造したのかも知れないから、椽や床では證據にならないといふ事も言へませうが、さうすると又都合の惡い點が出てきます。斯麼事を書いて行くと長くなる許りですから、これは略しておきます。

天井なく化粧屋根裏、二重虹梁蟇股式、大きな同時代の天蓋が二つ下つて居り、彩色の花模樣が各間にかいてあります。墳上には奈良平安の佛像が二三十躰並んで居て、何れも國寶。

繪殿の西に近く

**東院鐘樓** があります、西院のとは大分に異ひ袴腰のついた建物。記錄によると應保三年の建築である筈ですが、樣式からいふと全體鎌倉であつて應保らしい所は少しもない、多分鎌倉時代に再建に等しい大修理を加へたのでせう。

内には奈良時代の鐘が下つてゐる。此鐘は撞座が中々立派です。原は中宮寺のものださうで、よくみると極小さな字で上の方に「中宮寺」と細く彫つてありますが、恐らく後刻のもので、此を以て證據にする事は出來かねます。

傳法堂の裏は

**北室院** です。本堂は明應三年（今を距る四二七年）の建築ですが、門の方は明らかな證據はない、併し其樣式は全く本堂と同じですから、無論本堂と同時に出來たとして差支ないのです。

現在は本堂も門も屋根に瓦がのせてありますが双方共木割は甚だ纖細で到底瓦で葺くべき性質の建物でない、のみならず少し注意してみると軒口

に檜皮が殘つてゐるから、原は檜皮葺でありつた事が直に判ります。双方共室町時代の傑作です。

＊　＊　＊　＊

以上で西院東院の各建物を机の上で一巡しましたから、これで終りですが、最後にもう一度古いのから順に建物の年代をまとめて申しませう。

**飛鳥時代**

中門・金堂・五重塔・歩廊(以上西院)

**奈良時代**

經藏・食堂・東大門(以上西院)。夢殿・傳法堂(以上東院)。

**平安時代**

鐘樓・講堂(以上西院)。

**鎌倉時代**

新堂・上御堂・地藏堂・西圓堂・西室三經院・聖靈院(以上西院)・禮堂・舍利殿・繪殿・鐘樓(以上東院)。勸學院四脚門。

**室町時代**

南大門(以上西院)。南門・西門・歩廊・北室院本堂・同門(以上東院)。

右の内、勸學院門の他は總て特別保護建造物に指定されてゐます。まだ桃山・江戸兩時代の建物もありますから、佛敎渡來以後の建築は全部揃つてゐるのです。だから此寺の建物を深く研究すると別段此所彼所の寺々を歩かないでも、日本建築の沿革は判るのです。建築物のみではなく、彫刻繪畵共同斷です。法隆寺を單に建築の點から丈け考へても、飛鳥時代の建物が四棟あるから非常に大事ですが、建築丈けではない、純正美術の上から見ても美術工藝の上から見ても、我國に於ける寺院中此寺の右に出づるものは無いのであります。

(終)

**古都の春の趣**

春の森は翠色滴らむとし若草の山々も猶古帝王城の鎭たり堂々たる大都の觀なしと雖も融々として春色たなびき優にやさしき都の面影を存す試みに烟花杖を南都の遺跡に曳け春日遲々たり古都寂として眠るが如し日は興福寺畔に暖くして霞みは東大寺の大佛殿を罩めたり。



# 將來の『市加古市』

## 「都市」

ウオルター・デイ・ムウデイ著
Z Y 生譯

(11)

## 第九章　市政當局者

（三）

さて公吏も又人間である。彼は僕であるのみでなく、諸君自らの勢力の衣を着せ、權威の坐に坐せしめたる、代表者であり、全權大使である。諸君は諸君が神學博士、物理學者、門番、資本家に近くと全樣のてだてをもつて彼等に近くことが出來る○である。公吏は諸君の言に耳を傾ける。若し諸君が彼に正しく歩むで近づき、極く自然に以下の如く言ふならば、彼等は諸君の言を理解するのである。即ち『この冬は曾て私の覺えてる冬の中で一番寒氣が酷しい。併し又來る可き夏は暑いでせう。この冬が別して寒いから、昨年の夏よりも暑氣が酷しいに相違ないです。どこにでも毎年氣候の度は平均して居ります。いつでも極端に寒いと極端に暑いです。このことから思ふのですが

私は兒童等に對して、更に多くの遊戲場を得るために何かをなさねばならぬ必要がありません。何人がお持ちですか。ねッさうですか。私の家には美しい二人の男子が居ります。建物がみつしり建てつんで居るものですから、街路でボールを投げて遊んで居ります　我々は市が管理する、もつと多くの遊戲場が入用です。私も貴下も共通の利害關係にある譯です。私は今專門家と共力して働くために、貴下に一の案と考とを送らうと思つて居ります。出來るならば協力して頂きたいものです』と是は高踏的でないかも知れぬが、人間である。

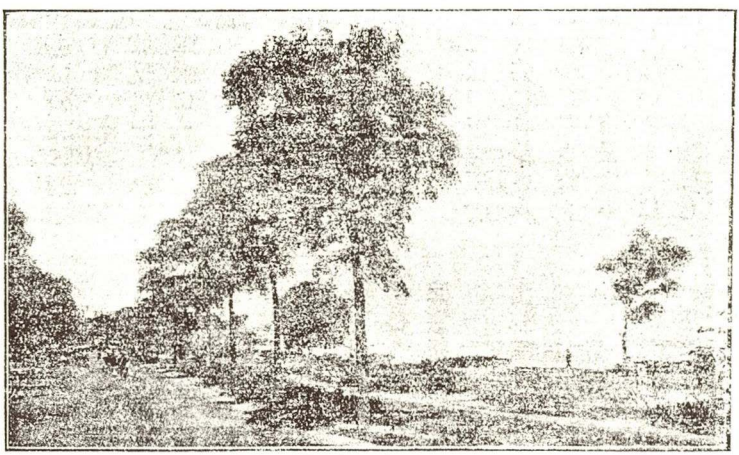
併し大抵の自稱改革家は、地に足をしつかりふんまへずに、天を大抵見つめて、評議員會室に出て來て、そして『公吏さんあなたは民衆の僕ですそれを忘れちやいけません。あなたがくづ〳〵しているから注意しやうと思つてやつて來たのですが――』と。諸君が左樣いふ風にやる時『僕君』は大きな黑い卷煙草をくゆらして、部屋の中を烟でもつて一杯にして、その結果も見ることの出來ぬ位にしてしまうか、或は忽ち前の室にある用務を思起して、もぐりこんでしまふかしてしまふ。議長は――議長の躰面上容易に姿を見せぬが――貧血病の樣にせゝらわらつて『紳士よ、恐くあなたのおつしやることは道理にかなつて居りますが、未だ定員數に滿ちませんから、もつ　多くの贊成者をごうぞ――』といふ工合になつてしまふ。その次は何が起るか。原因は良いのであるが、愚なる市民のために、方法を誤まつたゝめ、切角の熱心も的をはづれてしまふ實例の歷史の中へ、新しい頁を加へるだけのものである。何故に或る人々は、我公吏の善くあるも惡しくあるも――我等の行政機關が頻廢するも公正であるも――正に民衆彼等自身の善と惡、合宜なると不正直なるとに比例するものなることを忘れるのであらうか。

（四）

我等は各地方の狀態を正確に、又十分好く解剖して見ねばならぬ　自然市加古市の都市計畫案を進歩させるためには、計畫委員會は不斷に、行政機關のみでなく、執政者に――市當局者――接觸して

居る。そして我等の規則が或面に方於て繁にして煩しく、我等の豫備法が非經濟的で非科學的なるを發見した時には、當局者はそれを除く進歩的の態度をもつて居る彼等は熱誠と智慧をもつて、凡ての民衆の改善的の企圖を助ける。左樣いふ企圖が未だ公衆の心中に於て漠然それが利益ありてふ觀念が未だ科學的に證明されず、その改善が完成し民衆の要求が滿されぬ爲、明でなく漠然―として居る中に、早や援助を與へるのである。

實際に於て事業の遲延や誤れる着手の責任が、屢々自治市行政機關の組織にあり、多くの場合市の職員の報酬も極めて吝嗇のためにかくなれるに公吏をいつも非難するのは恐にも又不正なことである。私は一の適切な實例を知つて居るが、或る都會のことであるが、凡てのことを試みて失敗した荷揚人足のことである。最後に彼は長い間姿を見せなかつたが歸つて來た。見ると、てつぺんのでこぼこの帽子、汚れて損じたフロックコートを着て居た。彼は自分を見つけた知合に挨拶した『やあ、君は今はどこに居つて何をして居るのです』。『說敎さ』と聲に應じて答へた『說敎！』とその人は叫んだ『報酬は全く憐れなんだらう、ぢやないか』。『左樣さ。だから說敎も又憐れなやつさ』と。米國では大低の自治市や殆ど他の行政機關では、公吏に對して、報酬を尠く支拂ふことが經



市加古市「黃金岸」よりミシガン湖の一瞥。此邊富豪の住家多き故此名稱あり

濟的になると思つて居るが、併し却つてそれは最も非經濟的なることが證明出來た。全く貧弱な報酬は、全く貧弱な結果を招く　我等は公吏に對しては優秀の者を引着するに足る丈けの、報酬を拂ふべきである。然らばそれ丈けの收獲はむくひられる。これが實行された曉には、米國に於ける凡ての秩序は、更に多大の利益を齎らすであらう善き組織にせよ悪しき組織にせよ、これは民衆に凡て責任のあることで、彼等の選んだ者には責任はない。故に凡ての公職者はこれを非難するよりも奬勵すべきである。我國の民衆はこの理を事物に深く徹して考へぬのである。

千九百十八年に、市加古市に於ては、市參事會員の報酬が年俸三千弗から三千五百弗に昇給された。この增加は市參事會員自らによつてなされた然り若し市の第一流の市參事會員、この市最大の市會の事務が、年三千五百弗に價しないとするならば、何が値するのであるか。確に値する物なしと言はねばならぬ。我等は市參事會員が、自らの年俸を普通の生活費を得る位の程度に昇ることの必要なる事柄の狀態に寬大でなくてはならぬ。かゝることは適當の律法を通過して調節すべきものである。

我大都市に於ける他の醜聞は、實に我學校教師の俸給である。學校教師に就ては、或人が『民衆を開明するための神の傳道者』と特質づけたが、我等は今日彼等に兒童の教育ばかしでなく、同時に兒童の德育の發展をも依任して居るのである。しかも小學校教師は速記者や普通の役所の書記以上の賃金を受けて居らぬ。或場合には彼等よりも拙い。若し我等にして事の眞相をよく知るならば何も兒童等の進歩の貧弱なのに喫驚する必要はないのである。實際教育界の如き、僅の俸給で何が出來やう。ダニエル・ウエブスターは言つた「世界に於ける最廉價品は頭腦——世界に於ける一切の物が成功するためには賴まねばならぬ、根本的のものたるその頭腦である』と。

我等は合衆國大統領には年俸七千五百弗を支拂つて居る。五千弗からこの額迄昇つたのは、餘り前ではない、そしてそれも內閣に於ける、國民の

代表者によつて、多くの不平を鳴らされた結果やつと成就したのである。合衆國大統領と言へば、世界最富國の行政首腦者である。英國王及びその家族は、年々二百五十萬弗を受けて居るが、これは言はゞ傳統の結果左樣なつて居るのであつて、英王勢力と責任を比較すれば、我大統領のそれの單に一部分に過ぬ。

我等は歐州各國から、行政のこと、凡ての事物に於ける經濟的措置―併し英王の報酬の比例からではないが―から多くの利益あることを學ぶ、その學ぶ最良の一は、仲間のために功勞ある業をなす公職にある者や私人としての市民を尊敬し援助することである。

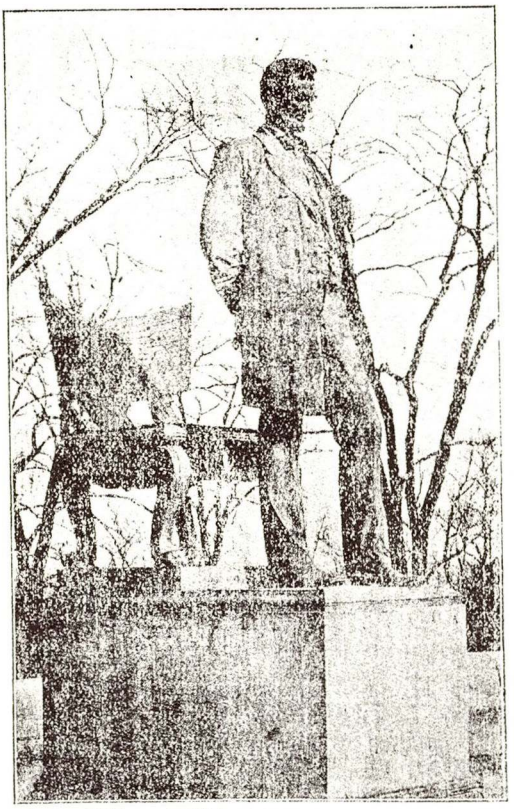
或歐洲の國々では、一市民が公の性質の大なる責任を帶る時には、特別なる方面の審査を受け政府によつて表彰される。然るに米國では公職者をげなすのが普通であつて、『公僕』などゝ呼んで輕視する。我等は凡て奉仕のために世にあるのである。世界に於ける最も美しいものは他人に對して眞に仕ふることである。若し奉仕がなされた時には、その價値を割引しないで、適當に評價せねばならぬ。『下僕』！美しい言葉である。『公僕』なる詞は卓越の記號である筈なのに、米國では小さい下い意味の詞の如くとられる傾がある。

（五）

市加古都市計畫委員會では、市當局者と提携して仕事をしてゐるので、此點に關し議長は、都市計畫案に於ける第五國民協議會の前で以下の如き演說をした。

市加古市に於て、我等の計畫案の仕事は、公職の地位にある人の大體は、市の福利に關し彼の義務を忠實に遂行するために、熱中せる人々であるといふ假定―私の信ずるこの假定は、躊躇なく正當とさるゝものなるが―に立つて進で居る。私は誠心誠意信ずる。都市文化進展に熱中する運動に、興味を有する多くの人々が、努力してその努力が失敗するのは、何の理由に基くのであるかと言へば、畢竟彼等が合衆國の公の事を管理する人々に對する同情を奬勵し、彼

等と極く懇意とならぬことに原因するのを。市加古市に於ては我等は暗黙の中に、我市の當局者に信頼して居る。我等の事業に影響を有する全市各方面の公職者と親密ならんとを努め、而して我等の企つる進歩は可能となつて居る。それ民衆の福利のために、都市計畫が根本的に重大なることを認識する、事務能力に巨大な頭腦あり、博き同情ある有力の人々の味方を得て居るからである。屢々都市計畫案の細目に亘つし論ずるため、又近き將來の努力に對する順序を圖るために集會を催すが、かゝる際には市役所の執行首腦者を招待する。我等は常に援助を受ける處の、我州或は國の公職者の興味に觸れ興味を惹出す樣に努めて居る。我等は共に集會するてふことの信者であつて、いつも之れを實行して居る。都市計畫者と公職者とは、收獲を得るために提携して行かねばならぬ。公職者に信頼する成行を見れば、いつもそのことが智慧のあるやり方であることが證明されて居る。此の證據をあぐれば以下の事實がある。市加古市計畫案は、全體として公には採用されては居ないが、相互間に暗に諒解が



市加古市リンコルンの立像.米國最大の彫刻家セイロ入南の園公ンルコンリ.置位●作スンデウガ●トン

あつて、己の事業の範圍内に於ける何等かの大なる市の事業を企つる時には、計畫委員會は相談を受けることゝなつて居るのである。

これ何處に於ても信奉す可き善き福音であり善き實行法であるが、殆ど一般的にこの戰術が轉倒されて使用せられて居る。

『惡しき行政機關に對する責任』なる題目に於ける有力な社說で、シカゴデイリー、ニュースは以下の如く結論して居る。

『若しも善き行政機關を渴望すと告白して居る市民が、劣れる弱い不適當の人に投票し、又は投票するを失敗し、機械的な方法に選擇を委ぬるならば、惡しき行政機關に對する究極の責任は結局その人の上に落ちて來る。デモクラチツクな團體の民衆には彼等が欲し或は正に當るべく行政權の類を有する。善き行政機關のために積極的な働をなすはいつでも善き行政機關をもつて酬ひられる』

斯の綱領は市加古市の凡ての有力なる新聞紙「アメリカン・イブニング・ポスト」「ジャーナル・デイリー・ニュース」「ヘラルド・エキガミナー・トリビューン」――によつて屢々宣傳せられたものである、悉く不斷に一致して善き行政機關の眞理を說敎して居る。これ市加古市が合衆國中の最も良く統治せらるゝ、諸市中の一な最大理由の一である。稀に市加古市も接枝の誹謗を聞くこともあるが、極めて稀に接枝の誹難が公衆の注意に上ることある場合も、之の事實が證明されない。市加古市の善き行政に就ての豐富な證據を知らうとするに最も必要なことは、市の改善されて居る改善事業の種類、範圍、性質を注意し、又それ等を他の諸大都市のそれらと比較することである。

民衆の使命は公職に適當なる人々を選擧することである。そして選擧してしまつた以上は、彼等を奬勵し援助することである。公刊物の使命は公職に不適當の者を獵り出し、彼等に注意し活動することを民衆に注意し、又當局者をして公の福利を遂行するに最大限度の力を出さしむる樣鼓舞することにある。進步と公正とが有力に結合して居る諸都市では、民衆の批評を受くる隙もなく、又批

評を聞くもそれは稀である。日々に侵々乎として人も物も協力てふ勝利の目標に近く々々動きつゝある『能率』なる詞が最早諺位とならず、重要にして意味ある文明國語中の言葉となるのである時こそ、世界中に新時代の黎明が始る時であらう。

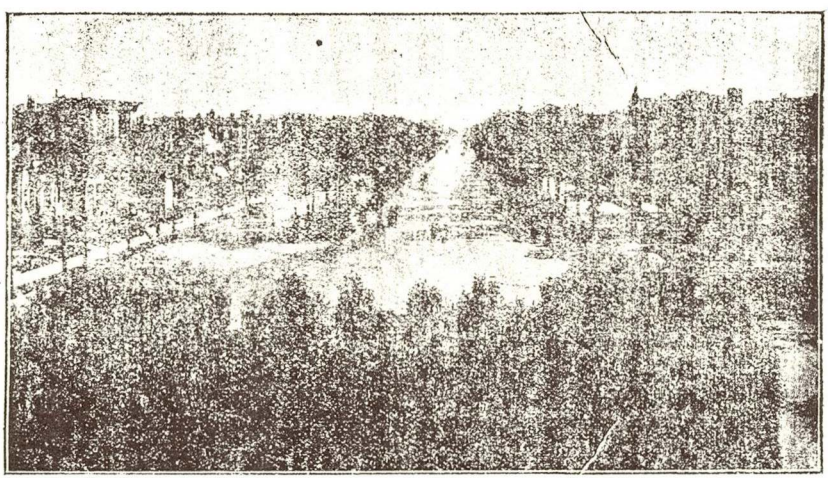
## 第十章

### (一)

人間が想像し得る程度の最大の不經濟は、合衆國の諸都市が企てゝゐる處の公衆改善事業の遣方に遺憾なく現はれてゐる。歐州は我等が現在やつて居る事を見て嗤つてゐる。例へば市街の擴大や樹てゝゐる設計を見よ。公衆を敎育するに費してゐる時間と費用を見よ。市が實際にその計畫を實行する瞬間から、その改善事業を完了する迄に、失つてゐる時間といふものは莫大なものである。實に都市計畫委員會が必要なる所有權を得る迄には煩はしき樣々の法律上の手續があつて、其法律なるものが障害物の如くなつて居る。これを完了するに成功する迄が易容ならぬ骨折である。若しもかゝる手續がもつと簡便にヨリ善き方法に短縮せらるゝならば、現在の複雜極まる手續のために失つてゐる時間と費用でもつて、改善事業を企てることが出來る程なのである。かく計畫に着手する迄に、既に要する不條理な非科學的の途を通らねばならぬとに就ては多くの原因がある。確にその缺陷の一は法律にある。大低の州の法律は、古くて煩雜で殆ど普通の常識と正義を缺いで居る。併しこれは單に一の理由であるに止る。長い不必要な費用の多くかゝる遲延狀態を造る原因には、他の要素があるのである。自分等の有利になる樣に、市に運動を企つる利己的の財產所有者の反對政治上の策略、不注意な市吏員や市當局者の、のんべんだらりな統計、この場合にある一つ以上の公の團體が愚なる不必要な小競り合いを企つること、職業的煽動家の陰謀、かういふことが、凡てかゝる公の計畫の實行さるゝ時には、都市計畫案委員會の訴や、市當局者や新聞の抗論あるにも拘らずしきりに行はれる。進步的の都市の新聞は何

時でも申合せた樣に立派な公衆改善運動には味方をしてゐる。

州の法律は改修し單純にすることが出來る。その財產所有者に屬するものを當然買收する場合に今の樣に微力でなく、ヨリ大なる勢力を市に附與することも出來る。若しも米國に於ける都市計畫を容易ならしめ、又若し市にして、市が當然得ねばならぬ權利と勢力とを得るがためには、費用はかゝつても、二三の專門家や法律家が必要になつてくる。だが法律を變更し改善するだけで、何時でも合衆國の改善事業が蒙る處の、果しのない費用のかゝる、遲延を惹き起さしむる、その缺陷のほ



市加古市、ドレツクセル遊歩街ープミツミンントン公園に四十哩を連絡す

かの一部分を矯め得るだけのことである。都市計畫の恩澤に就て、更に良き知識を進むるならば民衆の活動を刺戟し、害意あり邪惡なる煽動家を打破つてしまふことが出來る又役人等の組織をも整頓する力をもつ樣になるも。唯一切のものゝ中で、最も困難なることは、全民衆のためのどの改善事業にでも、いつも唯己自らを富ます機會をのみ探して居る處の財產所有者の利己主義を檢束することである。それから又全くの無智のために反對をする財產所有者が時々ある。例へば市加古市のオグデン廣樹街の改修の際の如き財產所有者が起した唯一の反對理由といふものは、市街を

擴張すれば商業街の部分を、一掃してしまふ様な運命となるといふのである。併しこの一個の反對が、全く頑迷のためであつたことは、後の事實が之れを證明して居る。即ち問題の地點を新市街に適する様に、數しく變更することによつて、以前よりも更に有名な又戰略的の商業地點とすることが出來てゐる。

（二）

遲延の他の重大な要素は、政治上の職務の變遷が頻繁なことである。普通、一の公職の椅子を得んとする運動者は、その戰役に數ヶ月の日數を費してゐる。縱し彼れが成功して、その椅子におさまるとしても、都市計畫のことに注意をうくる迄に落着くには、數ヶ月を十分に要する。辛うして其計畫案を回轉し、後援しやうと手を着け始むるや、早や既に次の選擧期が周圍に卷き起つてくる若し彼が再選せらるゝならば、しかく都市計畫案にとりて不利には終らぬが、若し敗れた際には、都市計畫案者にとつては、全然手續の進行過程を再び同じことを繰返すことゝなるのである。かうして忍耐深き計畫案者にとりて、殆ど數ヶ月を要する様に見ゆる不經濟を、選擧のくる度びごとに繰返すことゝなるのである。

一の計畫案事業を建てる都市が、フエデラル、ステイト、カウンチーの各執政者、而して市の執政者と交涉せねばならぬ立場にある時には、凡ての經過がすなほに圓滑に運んでゐる時、選擧が廻り來つて、他の團體の執政者がとつて代り、これ迄の凡てのことを全く轉覆させてしまふ様な、經驗に出會ふことは稀でない。市加古市の各計畫案の如き、それは唯計畫案委員會によつて推薦せられたものにせよ、又は市によつて採用せられたものにせよ、市執政者の三回の變動、中央政府の二回、カウンチー執政者の三回、ステイト執政者の三回の變動の中に生き殘つてゐる。夫等の諸計畫の中の、唯一つも尙ほ完了してゐない。心から市の幸福を願ふ者は、彼の居住する市が、何を要求してゐるかを研究し、自らその計畫案に熟達し、その案を後援し、出來る丈け速かにその事業を進行

させる樣に助けること、眞に市民としての使命であるといふことが、右の如き長き日數と曲折の中にも忍耐をせしめた理由である。右の如き政治上の變動に加ふるに、公吏の無頓着、怠慢等より生ずる遲延を加ふる時には、都市計畫なるものは、長い困難な費用多き奮鬪事業となつてしまつて、終には稅の支拂人も勘定が終つてしまふやうのことゝなる。

縱しその場合が右の如き甚しいものでないにせよ、米國に於ける凡ての公の建設的計畫を實現するだけ要する日數といふものは、笑談のやうである。だが決して笑ひごとではないのである。隣市の或る紳士が、私に話してゐた。彼は公設圖書館局の一員であるが、新な圖書館の建物を得んとするに、十七年間を費し、この程漸く完成に近いてゐるといふことである。人々が新しい改善計畫を提供することに落膽し、疑惑を挿し挾む樣になつてゐるのは、無理もないことである。彼等の大抵の者は一シャベルの土をおこし、煉瓦を置く遙か以前に、死んでしまふと思はれる程であるから、死後に完了さるゝが如き事柄に對しては、大なる興味をもたぬは當然のことゝ言はねばならぬ、普通の市民は、聽て間もなくその齎す福利を享樂することが出來ると、あてにし得る處の公の改善には喜んで肩を入れるのである。併し彼の子のその子の又その子になつて、初めて福利を齎らす如き事業に、しかも之れが莫大なる努力を要するが如きに至つては、彼が當然援助すべきものであると說く何等の理由もないのである。若しも民衆が唯之れを實現し、市當局者に活動を要請する丈けで之の時代々々に遂行した都市計畫案が、多く施行せば之れ丈け、多くの福利を各時代の者が容易に享樂し得る筈のものである。市街擴張事業は五年や十年の長年月を要するのではない、二三年で（商議、結構に要する日數も含み）すむのであることを、得心させることが出來るならば、民衆は急がねばならぬ道理に服するのである。

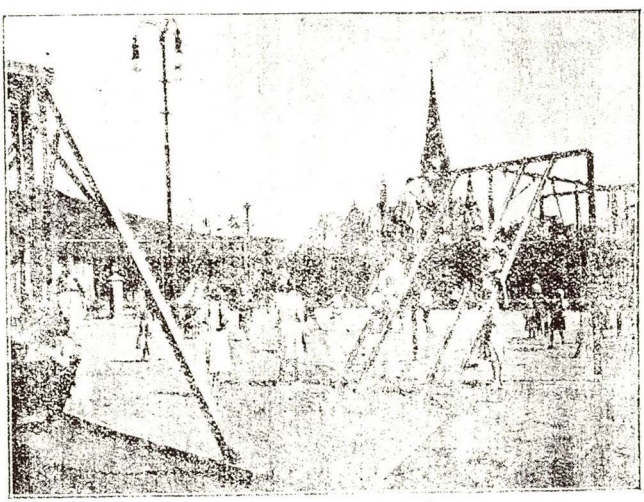
公衆改善事業に於て、之れを非常に急がせて完成したことに就て、恐らくこゝに引用し得る最良の例は、大戰の產物である、チャールス・エム・シ

ユワップの陳述の中に記してある。

『ツツカホー』即ち五千五百噸載量のボート又は石炭運送船が二十七日間で竣工した『インビンシブル』一萬二千噸の船が二十四日間に建造せられた。『クラウエル・デエイス』三千五百噸のボートが十四日間にグレート・レーキの船造所で建造せられた。以上は皆運送船である。グレイ港のモートアシップは（木造船であるが）十七日と半日間で竣工した。』

シユワップ氏は更に附け加へてゐる。

戰前にはツックホーの如きは建造に一年若しくは一年半を要する、インビンシブルは九ケ月若しくは一年を要する、而して木造ボートを竣工するには幾何の日數を要するかは神のみ知り給ふ。



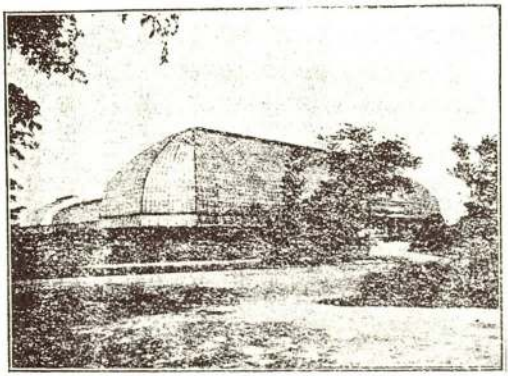
市加古市、チルデンス公園遊戯場、市加古市は兒童の爲の遊戯場を以つて有名にて他市を凌駕す

市加古市の如きは、フロンド湖公園の大計畫を樹てゝ以來、十五年の年數を經過し、しかも未だに一の公園も出來上つてゐない。十二市街擴張に一歩を進めて以來八年間となり、我國が大戰に參加した迄に、之の一部を完成したのみで、之れ以來實際中止の姿であるミシガン列樹街を北に延長する提議が、非常の勢で提出せられてから十年を經過し、此の建造に着手してゐいとの命令が出て以來、五年が過ぎてしまつ

た。しかも千九百十八年の夏に、その半が完成したのみである。同年市は有名なるフランクリン一オルレアン街の橋渠の架設に從事したが、これもその提案を提出して以來二十一年間を經過し、以來年々急がせて來たものである

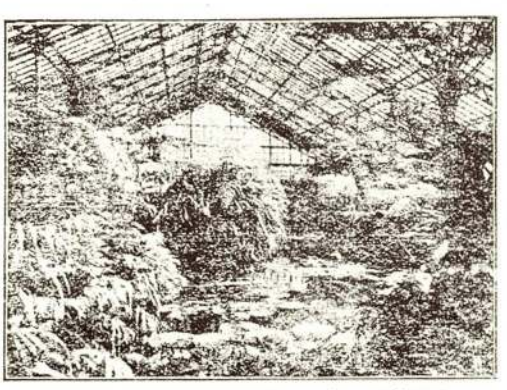
（三）

一見米國諸都市に於て、事をなす最善の、尠くとも唯一の道は、『風習・法王・或は王を無視して、こんなものを皆推し潰してしまふことである（若し左樣な手腕、攻勢的方法をとることを好む役人が見つかつた時には）これ正にミカエル・チエ・フアヘルチー（地方改良局總裁）が、市加古市に行つた點である。しかしその結果



市俄古市米國最大のガーフィルド公園暖閣

は彼は同僚なる公吏から非難を受け、民衆側からは認められゝ點が實に僅少であつた。何時かの時代とならば、フアヘルチー主義は、縱し『正規の手續』と稱する反對が時に起つても、最も速かに正當のことを成就せしむる主義として認められゝに至らう。我執政者當局者に折衝するに面倒な、又法律の大抵が、實際は殆ど凡ての法律家が面倒なのは、彼等が『正規の手續』てふ頑迷な意見を抱いてゐるからである。要は事を成就させさへすればよいのであるが出來得べくば正當の法規に從つて爲せ、若し諸君がそれをなす力がないのであるならば、どの道からでもこれをなせ市



市俄古市四十哩公園內のガーフィルド公園

加古市の民衆は計畫案委員會が推稱し、市會が採用した計畫案を出來る丈け速かに實行すると欲してゐるのであるから、ではファヘルチー主義を遂行する途があるのである、

だが正規の過程は民衆を敎育し、彼等をして自ら進んで實行せしむるために、計畫委員會が、廣く又費用をかけて宣傳を行ふことである。この方法が最もよく民衆の側に迅速に、自發的の反響を呼び起させるかくして果しない延引、(之れは凡ての公衆改良事業の途に横はる種々の理由からではあるが)をも除き得る。計畫委員會がその設計を活潑ならしむるに、攻勢的である外に、市がその改良事業を生まんとする時に、その完成の時を豫示せんと企つる人は、大膽でなくてはならぬ。勿論これは市加市に適應は出來ぬ、たゞかゝる狀態にある他の都市に於てなさるべきことである。

米國に於ては都市計畫の福利が理解せられて居ない。從つて右の計畫事業が效果をあげた點も僅かである。現行の法律は(これに從つて公衆改良事業は、私人の所有を買收することが出來るのだ!、非常に制限せられた理論に立脚してゐて、何百萬弗の費用を要する大改繕事業には適してゐない。花園の小徑や市街の道路改造を要する場合には、立派に役に立つたけである。



〔講　壇〕

# 煉瓦屋より觀たる米國の建築材料 (A)

大阪窯業會社
支配人
工學士　谷口德政　講

## 一

今晩は皆樣方の前で、私共の專門の事柄に就いて申上げるのでありますが、既に皆樣方は先刻御承知の事で、所謂釋迦に說法でありますけれど、私は最近米國を巡遊いたしましたので甚だおこがましい譯ですが、御土產話を持つて參つたのであります。

近時建築家の方々が盛んに渡米せられる事が流行して居ります、從つて、私共が今更視察談と申上げるのは甚だ潜越の次第であります、此建築材料殊に煉瓦並びにセメント等の側から觀た亞米利加の建築に就いて御話致しましたなら、又何かの御參考になりはせぬかとこう考へまして參つた譯であります。

私共より見れば我國建築界の當面の問題は先以て住宅の改良に第一歩を進められつゝある場合であると信じて居ります。此住宅の改良に就いては

皆樣方建築家の方々の頭が第一でありますけれども、又私共材料製造家も、御命令によりて皆さんの御要望に追隨して研究を進めて行かなければ將來の開拓は出來なからうと考へて居ります。

此意味に於て私の會社より私外二人を伴ひ、米國建築界の視察に參りまして、聊か持つて歸つた材料各種見本を御目に掛けまして彼我の狀況を明かにし、且つ煉瓦屋の觀たる米國の建築材料の中殊に粘土を原料としたる材料について御話を申上げたいと思ひます。

第一に申上げたいのは、昨今非常に材料から觀た建築樣式の變して來た事であります。それは煉瓦並びにセメント業界の分野が此頃殊に著しく移動して來た、私共の樣に煉瓦とセメントとの此二大材料の製造に從事して居る者には殊に其衝動を感ずるのであります。

煉瓦なる材料は皆さん御承知の如く紀元前數千年の昔アッシリア時代から立派に製造された材料であります、然るに『ポートランドセメント』は極最近の發明に係りアスピヂン發明以來僅に九十年の歷史を有つて居るに過ぎません、しかも『セメント』が機械的大工業となつてから僅かに四五十年であります。乍併此新しき材料であるセメントは將來益々其前途を開拓し行くべき運命を有つて居りまして、鐵筋及鐵骨コンクリートの利用が生れましてから日進月步の勢で、從來煉瓦の有つて居た領分を蠶食しまして、大都市には住宅以外には純煉瓦造りの建築は殆ど見當らず、高級建築は鐵骨『コンクリート』工場及普通程度の建築は凡て鐵筋コンクリートにして、就中戰時中以來鐵材の騰貴と拂底とより鐵筋コンクリートは更に盛になり八九層迄の高層建築を平氣で鐵筋コンクリートでやり又學校其他の廣間を有する公共建築にして鐵骨構造の當初設計を變更して鐵筋コンクリートで建てつゝありしを目擊しました。なる程セメント萬能だと感じました。

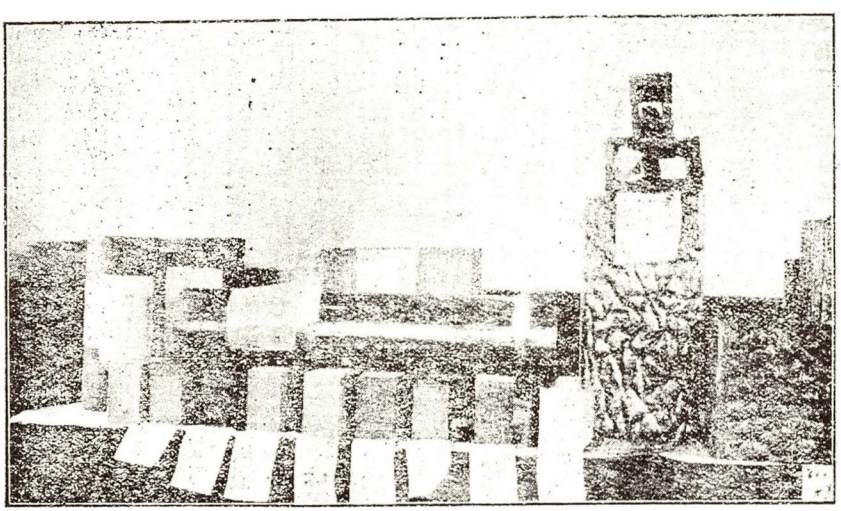
此趨勢が數字の上に如何に現はれて來て居るか試に最近二十年間の煉瓦セメントの消費數量を擧げましよう。

セメントが米國にて盛に製造を創められてから

僅かに二三十年しか經つて居りません、私共二十五六の工場を視察いたしましたが、其工場の完備して來た樣子は本當に立派でありますが多くは十四五年の歷史を有するに過ぎないのであります、即ち一八九九年米國のセメント產額は五百八十萬樽でありました、只今我國の產額が六百五十萬樽と致しますると丁度二十年前の米國と比敵する事が出來ます、然るに一九一六年には九千四百萬樽に達して居ります、其進步發展の跡は極めてステデーであつて直線的軌跡を畫いて居ります、此の僅々十七年間の發展も一九一七年及一九一八年の兩年の世界大戰の最中にあつて石炭の缺乏から、政府は產額の製限を加へましたゝめに、止むなく減少致して居ります。

| | |
|---|---|
| 一九一六年 | 九四三四萬樽 |
| 一九一七年 | 九〇四〇萬樽 |
| 一九一八年 | 七一〇八萬樽 |
| 一九一九年 | 八〇三九萬樽 |

即ち昨年は稍上向になりましたが尙勞働問題などが頻發して充分の製產額を示して居りませんが



價格は良好でありました、今後は益々非常の勢で上昇するでありませう。兎に角昨年と一昨年とを削れば僅々十七年間に十六倍餘りの製産額を增進しております。

之に反して煉瓦の方は古い歷史を有つて居るに拘はらず近年は面白くありません、即ち二十年前には既に七十七億個の産額を有して居り一九〇六年の全盛時代には百〇二億萬個迄登つて居ります（我國の今日の産額は統計がありませんが五六億を上下して居りませう）併し普通煉瓦（Common Brick）と稱せらるゝものは一九〇六年以降鐵筋コンクリートの壓迫を受けて製高減少しまして、一九一六年には再び十七年前の七十億と逆戻りして居りますが更に一九一八年には僅に三十八億に減じておりますから盛全時代の三分ノ一でありまず昨年は亦上つて四十六億迄上りましたが、兎も角、二十年前の半分そこ〳〵であります。

斯の如き狀況を觀ましても、煉瓦の將來は甚だ遺憾に耐へぬ有樣であります、昨年の如きは勞働問題の深刻なりしこと吾々の想像以上でありまして煉瓦製造の外煉瓦積みの勞働問題から二重に煉瓦といふものを萎縮せしめた傾向もあり遺憾ながら今一度往年の盛況を觀ることは困難でありませう。

扱て普通煉瓦（コンモンブリック）は只今申上げました樣に其製産高に於て百億の數字が三十八億に減少致しましたのは實に時代の然らしむる所であつて致方もないとすると煉瓦の將來は頗る影が薄くなりつゝあるやうに感せられます。

果して然らば煉瓦は絶望的に悲觀すべきものかといふにそれはそうで無い。窮通の路は再び洋々坦々たるものがあります。夫れは普通煉瓦の頽勢と共に特種煉瓦の新しき擡頭であります。

粘土を料材とする新材料で目下米國に頭を擡げて來ましたものは大體左の四つのものであります

第一、化粧煉瓦（Face Brick）
第二、空胴煉瓦（Hollow Block）
第三、舖道煉瓦（Paving Brick）
第四、テラコッタ（Terra Cotta）

（第二のものはホローブロックと申します、

ホローブロックと申して普通の煉瓦型に有孔のものもありますが、最近のものは、皆ブロックと呼んで居ります）

此等のものは新建築材料であるセメントと兄たり弟たる新建築材料でありまして、夫々分業的に組み合して理想的構造を組成しております。

今其最も新しい昨年の統計を擧げて見まするとと普通煉瓦の價格が五千八百二十萬弗に對して化粧煉瓦は千五百二十四萬弗、約四分ノ一強空洞煉瓦は千六百六十七萬弗、約三分ノ一弱鋪道煉瓦が千四十萬弗、テラコッタが千六百十七萬弗で是亦煉瓦の三分の一強といふ有樣で煉瓦類總體で一億一千六百六十七萬弗になるといふ有樣であります、乃ち此煉瓦類の一億一千六百萬弗に對してセメントの方は一億四千六百萬弗でありますから特種煉瓦を綜合せし煉瓦類としては其兄弟分なるセメントに負けぬ勢を有つて居ります。

又一昨年の統計によりますと

| | |
|---|---|
| 普通瓦 | 三八〇〇萬弗 |
| 化粧瓦 | 六〇〇萬弗 |
| 空洞煉瓦 | 一、三〇〇萬弗 |
| テラコ | 七七〇萬弗 |
| 敷瓦 | 八一九萬弗 |
| 計 | 八一〇〇萬弗 |
| セメント | 一一、三〇〇萬弗 |

といふ有樣で約三割方高いのであつて、將來も斯くの有樣ありませう。

斯樣な結果から見ても私共煉瓦屋がこれ迄のコンモンブリック丈を製造して滿足して居つては時勢に取り遺されてしまふに相違なく、皆さんの御指導によつて日本の建築界のために貢獻する所がなくては申譯がないのでありまして何等か此等四種の新材料をボツ〳〵造つて及ばずながら驥尾に附して行きたいと思ひ聊か見本を御覽に入れに參りました。

此等の四つのものゝうちホローブロックは非常な勢で發展して居ります、鋪裝煉瓦は堅牢にして美麗なる道路を造るに盛に用ゐられております、日本では果して充分の成功をするや否や未だ自信が有りませんが現に製造して大阪神戸其他の都會

に試用して貰ふ事に致しております。

ホローブロックの盛な事は非常にて新しい建築には使用せぬもののない位でありまして、其大膽な使用振には實際感服の外はなかつたのであります。

斯く煉瓦類の新方面が開拓されました以上はセメントと共に今後の建築界には洋々たる將來があるのでありまして、決して悲觀する所でなく、大いに新しい型を工夫利用する時代であろうと思ふ次第であります。

扨てこれから此等の煉瓦類の各論類に就きざつと申上げます、

コンモンブリックと稱せらるゝ普通の煉瓦が近頃は更に二色の區別が出來かゝりてゐる事は注意すべき事と思ひました、第一は日本の赤煉瓦と同樣のもので上等建築の見出しには用ゐられないが工場や倉庫や下級建築の見出しには差支無いといふので田舍の州には大體是であります、然るにシカゴや紐育の如き大都會附近にては裏積專門の極めて粗惡であるが値段が廉くて、コンクリートに拮抗して行かうといふ第二の裏積專門煉瓦が盛に製造されております、シカゴではシカゴ煉瓦と稱し紐育ではホドソンブリックと稱して、裏積專門のガサ〳〵の多產廉價の練瓦が大數を占めております。

又茲に裏積專門のコンモンブリックの中に石灰と砂で造られました硬化煉瓦がありますがシカゴ煉瓦以下に見られて居る樣で價格の割合は硬化煉瓦が現場着で十七八弗、裏積專門シカゴ煉瓦が十八九弗第一種の上等普通煉瓦は二十二三弗するといふ風にあります。

此等の安煉瓦は將來日本にも造る必要の時代があるかも知れぬと考へて居ます、蓋し第一種の赤煉瓦にありては原價が十五弗なるに對し裏積專門の安煉瓦は僅に實費七弗半でありますから煉瓦千箇の値段が職工一日の手間賃に比敵する位で實際に驚くべく廉製であります。

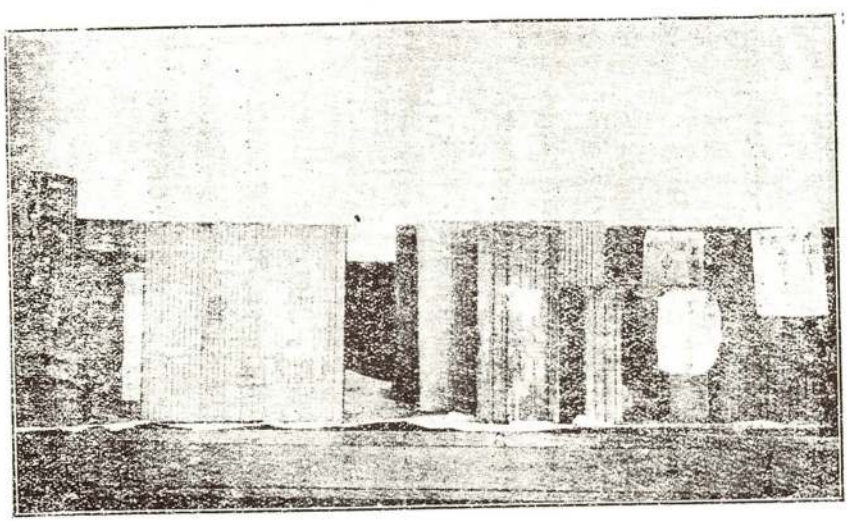
其製造法は亦實に痛快な行り方であります。其一例としてイリノイス煉瓦會社の事を申しますが此會社はシカゴを中心として十工場を所有して居

る、そして一工場の生産能力は一日三十萬箇である故總體一日三百萬箇を製出する有樣でしかも一工場は一臺の機械よりない、これは米國の特色であるスタンダードシステムであつて成るべく大きなスタンダードを造る國である爲であります。

此の大きな機械から煉り出される原料は二流となつて夫々エッヂ、カット（日本のものはサイドカット）に伐られ一分間に六百五十箇のものが出ます。一時間に三萬六千箇八時間に二十五萬箇を出すのであります。之れに十六人の職工が從事して居りますが、機械より實出する煉瓦を取出す丈に唯一度人手に觸れる外一切機械的の仕事となつて居ります素地の運搬は電車でやり、窯の側へ行けば大きなクレインで七百箇積一臺の煉瓦を一抓みに抓みて窯積します。

窯が亦大へんなものであります。巾十二間長さ六百間の廣場であつて一度に一百萬から二百萬箇の積み入れをなし野燒にして居ります。

こんな釜でありますから、重油が天然瓦斯でなければ燒けません。地下に煙道がある譯でなく、



又煙筒もなく四尺か五尺の通路あり兩側より二五所位の蒸瀧壓力により重油を吹き込んで蒸し燒きにして居ります。最初約三十時間ばかり燒いて居りますが、華氏千七八百度迄上り丁度下から十一尺十二尺位燒ける、それから又三十時間程に此度は六七十所の蒸瀧のみで燒くそこで下層の熱が上まで昇りて上まで全部本燒になるのである、此の無鐵法の釜燒には千箇につき重油十二ガロンを要します、一ガロン八仙なれば十二ガロンで九十六仙で燒く事が出來まして、第一種の上等の普通煉瓦に比し三分の一から五分の一で燒いております が重油の少い日本では此の米國式の眞似は到底出來ない相談であります、尤も此裏積專門のコンモンブリック型通りのものを造れとの事なら又何とか工夫して廉製多產の製法をやつてもよろしいかと思ひます。

釜燒後、釜の側面には貨車自動車等が横付になつてこれ丈は人手で抛げ込んで居りますが直ぐに目的地へ運び出します、そして半破れ等の損耗は百本につき五本位に過ぎないと申ますが見本を御覽の通り周邊は傷だらけの堅い土塊見たやうな物であります。（續）

## 民國一第の造築路道

昔時、道路を開通したり、修繕したりする場合に羅馬人は最も優秀なる技術の所有者であつたが、現在に於ける後繼者は何んと云つても世界中で英國人を第一位に推さねばなるまいと云はれてゐる。つい先達の事だが、英國陸軍參謀長サー・ウイリアム・ロバートソン氏は、午餐會の席上で浮つかり口を滑らし、現に佛蘭西出征の英軍が道路を築造する爲に五週間内に五萬噸の石材を使用したと云ふ事實を語つたので、列席者に一驚を喫せしめた相である。



「資料」

# 英國住居法（二）

大阪市都市計畫部
囑託　石原憲治

## 第三章　國家の財政的補助

住家に對する國家の寬大なる財政上の補助の承認は計畫の基本的の部分であると政府に於て認められてゐる。法律の中に規定してある地方官憲に對する補助の條件は規則の中に具體的に述べてある。

一、地方官憲は一片以上の歩合を支拂ふことを要せず。

政府の補助の條件は家屋の甚しき不足、建物の火急なる必要を認むること及び地方官憲の奬勵を基礎としてゐる。條件は又問題が單に地方的のものでなくて國家的のものであることを要す。

地方官憲が勞働階級に要する必要なる家屋を供給することに依つて蒙る損失が如何に大なりとも一月の歩合に依つて生ずるよりも大なる地方稅を要求する必要はない。但し勿論出費は正當の理由あり適當なる家賃を課せられて居なければならぬ財政上の補助の與へられる計畫は單に新家屋の供

給のみならず、家を奪はれた人々が計畫に由つて再び家屋を得られるならば、貧民窟の除去をも含み、又家屋を平家に變更することをも含む。

是等の條項が寛大を缺いておると云ふ訴へは當らない。正當なる經濟が與へられて居て、彼等が一片以上の歩合に對しては責任がないと云ふ事を知る以上、地方官憲は適當なる計畫の提出を躊躇することに對して辯解の辭を有たない。

二、計畫は敏速に提出され且つ實行されねばならぬ。

政府は家屋が直に作られることを切望するのであるから、計畫が或る一定の期日迄に提出され且つ實行さるゝに非れば經濟的の援助を約束しない大臣は第三類（譯者註勞働者階級の新家屋の供給）の法令の通過後一箇年の間に正當に進捗しておることを要求する、且つ法令の通過後三箇年內に實行されなければならぬ。保健大臣が期日の延期を許すに非れば以後の計畫に對して經濟的の援助を與へない。

三、七年末に於ける調整。

政府は數年後に家屋の狀態が、建物の價格をも含めて常態になることを望む、夫故に一九二七年には計畫の現狀に照らして全體の狀態を調査し、而して最後に政府は補助金は地方官憲が計畫に支拂ふ爲めに借りた資金を支拂ふ迄繼續される。

## 第四章　細民屈

### （一）新條項

細民窟に關する地方官憲の權力に關しては已に述べてある。新住居法は斯の點に關して大なる相違を有つてゐる。

政府の財政的補助の條項の下に述ぶる如き進捗的の地方官憲に特異の機會を與へて、彼等の管轄內に於ける細民窟の處分及び住民の家屋を再築する計畫を企てしめる。

保健大臣は細民窟の存在を確めたならば地方官憲をして其土地の改善計畫をなさしめ、且つ實行せしめることが出來る。若しも地方官憲が保健大臣の要求を定めたる期限內に應ずることを怠る時

は大臣は州會に實行の權力を與へるか又は自ら實行する。

**〔二〕細民窟を如何に扱ふか**

細民窟は其の中の或る家屋を破壞して幾部の家屋を相應に住居し得る樣にするか、又は更に烈しく全部を取拂ふのである。現今の一般の家屋の不足を見るに付けても或る場所は現在に於ては第一の方法を用ふるのが最もよい。又良き勞働は個人の家屋狀態を良くすることに依つて得らる。最も急ぐを要する問題は家屋の不足であるから是を第一に考へなければならぬ。何となれば家屋不足の存在する間は細民窟の大なる面積を適當に處分することが困難であるからである。

併し細民窟の問題は見落さずに直に考へねばならぬ。又是等の土地を處分する發端の仕事（ニシアルワーク）を遲滯していけはない。多くの地域に於て貧民窟を完全に除去するに非れば滿足ではない。是は事情が許なすらば直ちに企てられなければならぬ。

**〔三〕細民窟除去が厭くされた。**

過去に於ける主なる困難は土地及び建物に支拂はれる價格であつた。之が地方官憲をして實施を妨げたのである。地方稅に對して重い負擔を課し又不衞生の土地に對して高い價格を支拂ふのは不公平である、殊に所有地が彼等の義務を等閑にしておる場合に於ては特に然りである。

斯の事項に關しては新法令の條項は遙かに重要である。細民窟除去の場合には支拂價格は土地の價格のみに對して拂つて、建築物に對しては支拂を要しない。若しも改善計畫の土地全部が細民窟であつて、計畫に於て家屋再築に用ひる爲めに要求せられるなれば（又は或る場合には一部分を家屋再築に用ひ、一部分を空地とする）土地に支拂はるゝ價格は、計畫によつて定められた制限に從つて其の土地を勞働階級住宅の爲めに開發せんとする人々に對する土地の價格となる。土地は商業又は工場敷地として高價の土地となるかも知れない、而して過去に於ては地方官憲は假令土地が家屋の再築に用ひられても、此の高き價格を拂はなければならなかつた、夫故に新條項は地方官憲に對して多大の儉約となつた。

若しも此の土地が家屋の再築以外又は空地以外に用ひられるならば有所者は工場又は他の目的の爲めに用ひらるゝ全額を受けるのが公平であると見做されてゐる。又屢々除去された細民窟の一部分が家屋の再築又は空地として用ひられ、一部分が工場敷地として或は他の斯かる目的の爲めに用ひらる場合が起つた時には法律は土地に支拂はるゝ全價格を數多の所有者の間に公平に分配する樣に規定してある。

或る場合に地方官憲は不健康の土地でなくても計畫を有効にするために家屋を所有する必要を認める。斯の場合に於ける所有者に對して支拂はるゝ報酬は新住居法によつて影響を受けない。

**〔四〕土地所有者は細民窟處分の機會を與へらる。**

是迄土地所有者は彼等の土地に於ける貧民窟を處分する權力を與いでおるのを不平にしておつた彼等は土地を貸すが、其の上に建てられる家屋が惡い爲めに地價が漸次に低落するけれども彼等は之に干渉することが出來ないのである。新令に於ては彼等は必要なる場合には改善の事業を實施する爲めに裁判所に訴へることが出來る。夫れ許りでなく裁判所は訴訟が充分に有力であると考へたならば、貸地契約を中止せしめて土地所有者をして土地の所有を可能ならしめることが出來る、然る時は所有者は必要なる總てのことを自由にすることが出來る。

**〔五〕國家の細民窟除去に對する財政的補助**

改善の實施を助くべき法令の最も重要なる條項は恐らく細民窟を除去し、且立退かされた人々に家屋を再築する地方官憲に國家が財政的の補助を與へることである。

新法令に於ては地方官憲が除去された土地又は他の土地の何れかの土地にして、保健大臣が細民窟除去及び家屋再築が必要であると認めた場所に家屋を再築するならば、新家屋の供給の場合と同樣の補助を土地の掃蕩に與へられる。

次の事は記憶して置かねばならぬ、即ち屢々最善の計畫は土地を掃蕩して其の後に家屋を建てずして（土地が其の爲めに不適當であるかも知れない）他の目的の爲めに用ふることである。夫故に

新條項に依れば地方官憲は住居改善を理解のある方法に於て取扱ふことが出來る。彼等は家屋不足に應ずる爲めに新家屋を供給することが出來る許りでなく又同時に適當なる家屋の供給が必要である場合には細民窟を除去して人々に家屋を再築することが出來る。而して全體の計畫の損失に對しては一磅につき一片の歩合以上の地方稅を負擔せしめない。之は何人も一致する如く斯くの如く重且大なる改善に對しては僅かの支拂である。

已に述べたる如く財政的補助は計畫が準備されて直に實行されねば約束されない。

**〔六〕州健康醫官の檢査**

保健大臣は新法令に依りて不健康地に關して、地方官憲が彼等の權力を執行することを怠つておることを知つたならば、如何なる州にても州健康醫官から報告を得ることが出來る。

## 第五章　個人に依つて爲さるゝ事項

已に述べし如く住居に關する責任は初めは地方官憲にある、併し地方官憲は地方の人々に依つて選擧される故最後の責任は地方の選擧人にある市民は各自の本分と責任とを盡さねばならぬ。市民は重荷又は非難を單に地方官憲又は政府に負はせておいて滿足して居てはならぬ。寧ろ自ら住居の大問題の解決に向つて積極的の活動をする用意がなければならぬ。

加之市民として機會と責任に加ふるに尙ほ個人として援助の出來る多くの道がある。

**一、寄附**

財產のある人は地方に直接に家屋を寄附し又は例へば空地の爲めに土地を與ふることに依つて援助を與ふることが出來る。

地方官憲は土地の寄贈、又は金、又は住居法に依る各種の目的の爲めに他の財を受けることが出來る。或る土地所有者は已に土地を無償で地方官憲に住居に用ひられる爲めに寄附しておる。

**二、個人は事業に着手することを得。**

議會は市民個人に依つて事業が初められる或る

道を作つてゐる。詳細は附錄第一表に依つて直に理解出來る。

表に示す如く數多の市民は連合して缺點ある住居狀態の不平を訴へることが出來る。若し抗告が住居法に依つて定められた如く正確に爲された時には、場合に依つて健康醫官、地方官憲、又は健康大臣は夫れを檢査する、而して抗告が正當であると認めたならば必要なる行動を取る義務がある。

如何なる抗告も勿論充分なる考慮の後に爲されなければならぬ。抗告を爲さんとする者は彼等の事實を充分に知悉して、彼等の執らんとする行爲が完全に保障されておることを認めなければならぬ。

行動を取らんとするものは常に地方官憲が爲すべき他の事柄を考慮に入れておかねばならぬ。例を擧ぐれば、事情が許すならば直に除去されなければならぬ多くの細民窟があることは疑ない、併し同時に現在に於ける第一の問題は家屋の不足であることを忘れてはならぬ。人々が入り得る家屋が供給される迄は假令現在の家屋が希望する標準に遙かに達しないでも、現在の家屋を變更する必要は少しもない。之等の事柄は働きの無き口實としてゝはなく、活動の適當なる時を決定する爲めに心に止めて置かねばならぬ。

## 第六章　州會の權力

一、州會は其の雇人又は州會に依つて支拂はるゝ人々に家屋を供給することを得。

新法令は州會は其の雇人又は州會に依つて支拂はれておる人々に家屋を供給することを得ることを明瞭にしておる。例へば巡査、道路監督及び教員等に對する州會參事會による家屋の供給は實質的に或る土地の住居困難の解決を助ける。

法律は更に政府は、州會或は州會の法律委員會が支拂つておる人々に又は雇人に家屋を建築する所の州會に對して經濟上の補助を與へることを規定しておる。補助は經費の毎年公債負擔の30%の郡年額補助金である。

**二、州參事會は小借地と共に家屋を供給すること**

が出來る。

州會は數年間必要に應じて小借地（Small holdings）に家屋を供給する權力を有つて居つた。農業局及び漁業局は以前の使用人よりの借地の要求を考へて州參事會に彼等の小借地に對する企てを擴張する樣に特別の强制を置いて居る。土地植民（ランド・セトルメント）（便宜）（ファシリティーズ）法は斯の點に關して州參事會の權力を增加して此の實行を容易ならしめておる。從つてより多くの家屋が斯の方法によつて供給される樣になる。

從來の法律に據れば州參事會に依つて供給される小借地は一「エーカー」より小くてはならなかつた。併し土地植民（便宜）法は州參事會をして若し其の土地に、一箇の家屋が建てられてあるならば、二分の一「エーカー」乃至一「エーカー」の小借地を供給をすることを許しておる。

併し借地が供給される時一定の期間農業局及漁業局に依つて特に指示された場合には其の土地の區域參事會（District Council）は企業の上に生ずる損失を負擔し又は利益を受くべきである。斯くの如き損失又は利益は住居法によつて地方官憲の費用又は收入として取扱はれておる。

**三、州參事會は地方官權が怠慢なる時、又は單に地方官權に代つて實行することが出來る。**

住居法は若しも地方官憲が勞働者の新住居を供給し或は住居に適せざる家屋又は有害なる建物に關して彼等の權力を働かせないならば、保健大臣に訴ふる權利を明かに與へてある。

村落區域參事會には更に特別の權力が與へられてある。第一に州參事會に村落區域參事會の勞働階級住居を供給する權力を與ふる命令を請求することが出來る。大臣は事情が斯かる方法を正當と認めるならば、斯る命令を發することが出來る。之を決定する前に大臣は必ず村落區域參事會は彼等の希望及び何故に權力を與へてはならないかを村落區域參事會の意見として述べる機會を與へる

更に敎區評議會又は敎區會或は更に村落地域に於ける四人の居住家主は州參事會に村落區域の參事會が家屋供給の義務を果して居ないことを訴へることが出來る。州參事は地方查問會を組織する

ことが出來る、然して若し事實が立證されたならば斯の點に關して村落區域參事會の權力を剝奪することが出來る。

州參事會は村落區域參事會が閉塞命令又は破壞命令又は障害家屋の破壞に關して爲すべき義務を怠れりと認むる時は同樣の手段を執ることが出來る。

以上に述べた權力は前に述べた新法令の條項とは獨立しておる。新法令に據れば保健大臣は自らの權限に於て、若しも地方官憲が彼等の義務を怠れりと認むる時、又は州參事會によつて家屋が供給される方がよいと認めたる時は州參事會に地方官憲の權力を移して新家屋を供給することを得しむることが出來る（つゞく）

## 春の悲哀

野を步み、霞める空を仰ぎ、草の香を嗅ぎ、緩やかなる流水の歌を聽き、撫づるが如き風に向ふが中に、忽ち堪へ難きなつかしき感の起り來るあり、捉へんとすれば、已に哀なし、吾靈其の離れて遠く來れる天の故鄕を慕ふにあらざるなきを得むや。自然は春に於てまさしく慈母なり。人は自然と融け合ひ自然の懷に抱かれて限りある人生を哀み、限りなき永遠を慕ふ。即ち慈母の懷に抱かれて、一種甘へる如き悲哀を感ずるなり。




# 太西洋を見る日まで

會員 工學士 波江悌夫

□六□

## ○旅は道連れ

I技師は此の方加奈太方面を横断して紐育へ出る計畫で、ヴアンクーバーに向つた。愈自分も單騎大陸横斷の途に上られねばならない。

物か氣分も落付いたし汽車にも御眤みとなつたので紐育行の切符も、寢臺車の交涉も、手荷物の依賴も、鐵道時間表の見方も一人で研究してやつてのけた。

暇乞旁々○氏の宅を訪れた其夜、○君はこんな事をいふた。

「符切も買つたのですか、それはよかつた、だが一人で旅行しやうとしても、此頃は日本人の活動が世界的となつて居るから、桑港行の汽車にも紐育行の列車にも、毎日一人や二人は乘つて居ますよ」

と斷言した。自分はまさかと思つたが、翌朝ユニオンデポーに行つて見ると○君の言葉が事實となつたには驚いた。

「幸に天候はよし、此度の雪もカスケード山中には深くない樣ですから安心です」

と懇々送つてくれた○君は言ひながら、待合室の向ふを見ると四五人の日本人が入つて來たので、

「オヤ、誰か會社から出張する人がある樣です、やつぱり道連が出來ましたぜ」

と云ふうちにヤア〳〵と挨拶が交換された。果然昨夜の話が適中してM君といふ若い社員は紐育まで用務のため出張するのだそうで早速○君が紹介してくれた。

「僕も初めてだから宜敷頼みます」
とM君がいふ。
「長らく當地に居られたのでせう」
と訊けば、
「いや、やつと一ケ月ばかりです」
と答へた。それなら似たり寄つたりで二人になつても彌次喜多の旅行より厚束ない樣だと思ひながら。
「私は全くの新米だから、宜敷たのみます」
と挨拶した。するとk君といふニコ〳〵したM君の友人が、
「M君は一月は一月でも英語にかけては出藍の譽があるから、御安心なさいよ」
とひやかした。M君頭をかいて
「併しk君の御陰で面の皮丈は漸く厚くなつた樣な氣がするれ」
と答へた。
待合室は廣い大きな一室で等級の別のないのが此國の特色だ、右手には切符賣場と手荷物扱所と食堂があり、左手には喫煙室と便所と物品販賣所とがある、突當りの扉を排すれば直ぐに數條かのトラックが竝んでゐる、市俄古へ連絡の鐵道は四會社もあるが皆此市停車場から時間を異にして出發する、所謂ユニオンデポー(プラン)たる此ターミナルステーションの建物は頗る壯大で亦簡單な平面圖を有つて居る。
總じて此國の停車場にはプラットフォームがない、軌道と軌道の間にスリッパーを竝べて居るに過ぎぬ、建物には思ひ切つて金をかけてもこんな處は大いに儉約して居るのは御國風を發揮してゐる樣だ。從つて列車に乘り込むには小さな踏臺を(黒人のボーイが据ゑて置く)使用して居る、列車は防寒用の爲に二重窓になつて居るので、窓を開けて見送りの客に挨拶も出來ないいや此國では見送の客は殆んどないそうな、成る程吾々一團の外にはそれらしい影もない。
「オンボード」
と黒人が太い銅羅聲で叫ぶと例の踏臺を抱へて乘る、それを合圖にエルリと列車は動き出す。見送人との目禮も出來れば頗るアッケない汽車の出發!
先外て自分は大陸横斷車中四日の旅路に上つた。

## ○電　報

M君と自分とは列車が異つて居たので、車中を見渡して見るとやつぱり何となく淋しい氣持である。M君も淋しいか直ぐにやつて來て喫煙室へ行つて見やうと誘つた。車内では煙草が喫めぬ以上は話も喫煙室の方がよいに相違ない。暫くは身の上話に耽つて居ると、煙草好きの米人がドヤ〳〵入り込んで來た。
肥えた一人の男はM君の肩を叩いて
「何處迄行くれ」
と聲をかけた。
「紐育迄」
とM君は簡單に返辭をする。
「何にしに行く」

「商業のために」

「何の商賣だい」

「僕はS會社の船舶部の一人さ」

「S會社？　本店は何處？　上海或は天津？」

と肥つた男は續けさまに質問して居たがM君の顏は見る〳〵緊張した。

「否（ノウ）ー僕等は日本人だよ」

相手は面喰つた。併し面喰つたのは其男ばかりではなかつた。すると丈の高い痩せた男は葉卷の口を切りながら

「S會社は大きな會社だ。紐育の支店はeヒルヂングの二床切落（フロワー）して占領して居るぢあないか、資本金は五百萬弗以上だよ」

と云ふたので肥つた男は

「さうかい、それは知らなんだ」

といふてニヨ〳〵した、面白さうな男だ。

「君も同じ會社かれ」

と今度は自分の方へ水を向けた。

處へ車掌がやつて來て、切符を改め初めた、煙喫室の話は立消えとなつて、自分は一先づ自席を引上げた。

汽車はいつの間にか上り勾配となつて雜林の間を谷川に沿ふて走つて居る、殘んの雪のそこ此處に白ふ見える、牧場の淋しげに柵の連なれる、此粗末な田舍家の默々として隱見する景色は慣れぬ眼には珍らしくもある。

紐育のR氏へ電報を打つて置く必要がある、シヤトルで打つ筈の處を打方を知らぬ儘に忘れてしまつたのであつた。まあ文案を考へて一度M君に見て貰ふと頭をヒネつて居ると、車掌がやつて來て、

「あなたは日本の方でせう」

「そうです」

と答へると

「英語が御解りですか」

言葉と體度が丁寧なので

「ふゝ少しは解ります」

と答へると、ポケットから一枚の洋紙を取り出して見せるから、何が書いてあるかと思ふと

「議會はすして斷然歸國の途に上る、汝に應じて茲に署名するもの也」

萬年筆のインキ太に勞働會議でワシントンに行つて居る筈の委員の姓名が二人並べてある。思はずヤヤと叫んだ。そして車掌の顏を見ると

「何と書いてあるのだか知らしてくれませんか」

といふ。さて何と說明したものかと考へて居る處へM君が來た。M君もなつかしい日本字を讀んで居たが、自分よりは喋れる丈に要領よく說明してやつた。車掌は喜んで歸つて行つた。

電報の事をM君に相談すると、文句はそれでよかろうとの事だ僕も一本打ちたいのだから一寸待ちたまへ、訊いて來ると車掌の處へ樣子を訊きに行つた。

すると引違いに他の車掌が一本の電報を持つて來た。

「Mさんといふのはあなたですか」

見るとM君への電報だ。差出人はM君の會社からである。丁度M君は歸つてくる、早速電報を披いて覽ると

「明朝の同じ列車でKが行くからシカゴで待合せよ」

といふ文句だ。K君といへば今朝デポーまで送つてくれた人ださうな。

「これで見るとK君が來ることが愈決まつたらしい、シカゴで待ち合せるとすれば一日丈は見物が出來る」

とM君は考へて居る、自分も二人連が三人連となるもよからうと考へた、一日でも二日でもシカゴを見物するのもよかろうと考へた。

「食事の用意出來申候」の代りに此國では黒人のボーイが大きな聲で「ファーストコール」と呼び歩く。是れが三度呼ぶ間に食堂が開いてゐるのださうだ。今第一聲の銅羅聲が響き渡ると後ろの列車から客人がぞろ〳〵やつて來る。さつきの肥つた男はM君の肩を叩いて一所に行かうといふ、痩せた男は自分の手を執つた、向ふではもう友人の積りであるに相違ない、如才のない國柄である。

食堂で電報の打方の話を訊いた、車掌が取扱ふものかと思つたら客人自身途中の驛で打つ習慣ださうだ。自分の事は自分にやれ主義の國丈に仕末が惡い。處が途中の小驛では三四分位か停車せぬ樣だからとM君は困つて居た。

## ○繪葉書

晝食を濟ましてから自席で賴信紙へ電報を書いて居ると、車掌見た樣な服裝の小男が

「お前は日本人か」と聲をかけた、

日本人かと訊かれると聊か氣持がよいのは妙だ、

「そうです」と答へると繪葉書を五六枚出して買はぬかといふ。其態度が今度は妙に大風に見える、商賈人は腰の低いものとしてゐる國の習慣から見ると聊か頭が高い樣だ。

「今電報を書いてゐるのだから後でゆつくり拜見しやう」

と答へると其男は

「そんならこれへ置いて行くから後で御覽」

と置いて行つた。見るとシカゴミルオーキー鐵道の沿線の風景を一綴にした繪葉書である、日本では車内で物を賣るのは禁じてあるが此國では差支ないのかもしれないが、どう考へても、あの男の態度には此方が買ふ氣になれん樣な處が現はれてゐる、

暫くすると其男が亦やつて來た。

「どうだい電報は書けたかい」

いふ言葉が一々癪に觸わるぢやないか

「漸く濟んだ」

「そんなら繪葉書を買つてくれ」

「一綴丈買はう」

「お前は妻君があるだろう」

「うんあるよ」

「ぢあ妻君へ一枚遣るさ」

「だから一枚丈買ふよ」

「お前は子供は何人あるれ」

「三人あるる」

「そんならもう三枚買はんか」

同じものを幾枚買つたつて面白くもないものだ、ましてこう押付けられると益々いやになるから返辭をする氣になれぬ。

「友達も澤山あるだろう」

と疊かけてくる、友達が澤山あろうがあるまいがそんな事はどうでもよい、と言ひたくなるが、さて言葉が妙に咽喉につまつて出て來ない、一綴の繪葉書を開けて見たり疊んで見たりして居るうちに、其繪葉書の風景も面白くなくなつて來た。

「何か外のものはないのか」

と質問すると持つて居た繪葉書をそこへ置いて

「一寸待つてくれ」

と出て行つた。繪葉書はどれもこれも同じものばかりだ。

やがて持つて來たのは同じ樣な風景を嵌め込んだトランプである。

「昨日の列車に乘つて居た日本人は此トランプを四組宛買つてくれたよ」

と其男がいふ

「何人乘つて居たね」

「五人居た」

「さうかい」

と返辭したが、此男は思ふに日本人と見ると賣り付ける役目なのだろう。さう思ふと愈買ふ氣にならない。

「これも一つ丈でよい」

といふと、今度はチョコレートの小箱を出して買つてくれといふ。

さう〳〵自分は此男から五枚の繪葉書と一組のトランプと一箱のチョコレートを買はされた。

最後に小說本を七八冊抱へて持つて來たけれども「俺には一冊も讀めないよ」でおつ拂つてしまつた。

## ○同行四人

M君は會社へ宛て返電の處要から、途中の驛で打電するについて苦心して居た、汽車は既にカスケート山嶺の雪を越へつゝある此列車の汽鑵車は有名な電力裝置のものを使つて居る。時折々立枯の山の腹をうねつて行く間に車窓から見ると、妙な角を出した汽鑵車が目に入る、煙を吐かない丈に物足りない感のするのは止むを得ない。

夕景になつてスポーカンといふ大驛についた。M君は漸く茲で打電する事が出來た。考へて見ると、電報を打つの打たぬの騒いでゐる間に三百哩は走つてしまつた事になる。處が此の驛で一人の日本人が乘つたとM君は報告した。

夜になつて喫煙室は日本人三人に占領された。スポーカン驛で乘つた人はS君といふて長くアラスカの氷を踏んだ丈に英語にも國情にも通じて居た。そこでYさんといふ日本の毛皮商から賴まれて通譯代りに「クベック」迄同行する事となつた、Y君は英語がちつとも出來なかつた。從つてS君は何から何まで世話をしなければならなかつた。S君とY君は昨日の朝の列車でシヤトルを出

立したのであつた。

處がS君は昨夕スポーカン驛で電報を打つ爲めに下車をした。七分停車の間を利用して打電を依頼して居る間に、列車は五分の後に發車してしまつた、S君は憤慨して驛長に談判したが後の祭で遠く去つた列車に乘る方法はなかつた。これは車掌と驛長との打合の間違から起つて居るのだ。

S君は自分一人丈なら別に驚きもしなかつた。英語を知らぬY君は何も知らずに其列車に乘つて行きつゝあるのだ。困つたのはS君である。仕方がないから、S君は其列車の車掌へ當て『Yといふ日本人が居るから次の大驛「アベリー」で捕へて下してくれ』と打電した。それと同時にア驛の驛長へ電話で事情を話して、Y君を捕へて下車せしめる手筈をした。

S君の話によると、昨夜二時アベリー驛長から電話が掛つてY君を捕へた事を報告された。Y君は驛長に代つて電話口へ出たそうだ。

「おい！S君か？　困るぢあないか！　什うしたらよいんだ」

とY君の聲は泣聲に近かつたさうだ。それで今夜二時にアベリー驛でY君を頂戴して行かなければならないとの話であつた。

「河童の河流れといふ事がある！僕がなまじ事情を知つて居たもので車掌に七分停車と聞いて安心して下車したのが失策であつた、車掌に打電するからと念を推して置けばよかつたのである」

「君等が却つてスポーカン迄打電を待つて居たのは仕合せであつた」

其夜の二時！零下二十度のアベリー驛でS君は無事にY君を捕へる事が出來たので、同勢茲に四人の道連が出來たのであつた。

## 世界最大な停車場

何んだといつても、亞米利加ワシントンのユニオン停車場が世界最大のそれである。奥行七六〇呎、間口三四三呎、外部の材料には總て白大理石を用ひてゐる。最も驚くべきは乘客集合所で、五萬の乘客を立たしめて尚ほ充分な餘地があるそうな。

# 新聞記者としての吾れ

## ―原稿生活物語の二―

E・K・S

### 紺屋の白袴

わたくしは、ちよつと、此處等で新聞記者といふものに就て感じた事の一つ二つを書いてみたい。それは寧ろ暗い方面であるが、前回に誌したやうに『新聞記者』てふ詩の國を憧憬して華薫ると想ふた斯の巷の人と成つてみれば、案外にも薊の花が少からずして、その裏にわたくしの心を刺された事が多うかつた、先づ、わたくしの感じた事は、所謂紺屋の白袴で、新聞記者程本を讀まない者はない、と思ふた。併し、それは勿論凡ての新聞記者といふ譯ではないが、五七年間に於けるわたくしの新聞記者活生中、わたくしの接した種々な事實から歸納すると、まあソウ思へる。素より、新聞記者は學問の人でない、何處迄も鋭智な敏活なそして最も妥當性に富むでゐるといふ事が、寧ろ其第一義では あるまいか、と想ふ。云ひ換へたならば、誰やらも云つたやうに、『慧敏七分の學問三分』此處等が新聞記者の實際的生活として先づ相當な見方ではあるまいか。扨てこそ、所謂社説や評論を書く處の、謂はゞ理想派記者としては聊か見方も異ふが、政治、經濟、社會及び其他の實際問題に接觸する處の謂はゞ經驗派乃至は實際派ともいふべき方面の記者としては、最高學府の出身者よりは、却つて、左したる學歴なきも、所謂世故に通じた人の方が、餘程目醒しい機慧なそして妥當な働きを爲し、新聞記者として却々持てゝゐる人が少くない。さりとて、新聞記者には恒に新智識を追ふの必要がないとは云へない、書冊が彼れのポケットより彼れの手より離れて、動ともすれば頽廢的氣分に獨り高ふするとも可い、とは云へない。曾ては尾

崎愕堂が、今の新聞記者なる者の多くは、昔のそれのやうに、何時でも廟堂に立ちて自己の政治的理想を行ふ程な抱負を有してゐない、といふ意味な事を語つたやうに記憶してゐるが、それは、今日の新聞記者を以て、愕堂三四十年前のそれに引き戻して考へる處の、謂はゞ祖父さんが若い時の事を孫に諭すと同一徹だ。何も政治が新聞記者生活の全體ではない、廟堂に理想を行はむが爲のみの新聞其ものでもない、廟堂も左る事ながら、社會といふ大きな遺れ物を爲てゐるのだ。何んだと云つても、今日の新聞記者も一つの職業だ隨つて一種の社會的分業だ、新聞其ものも亦それだ、斯くてそれでベストを竭くすのが新聞及新聞記者としての生命である。さるが故にこそ、今日の新聞記者なるものは一層多くの進歩的思想を培はねばならぬ、けれども、事實は、恒に餘り學問といふ事を爲ない、餘り書冊を讀まない、といふ傾向のあるのは、どうしたものだらう。

## 飛むだ偶像

### 崇拜

も一つ筆の序に書いて置きたい事柄は、新聞記事を、何んでも漢でも、絶對權威者にして而も最も合理的なものとして、無條件に、否な寧ろ盲目的に受け入れる事である。云ひ換へたならば一種の偶像崇拜である。先づ所謂社說なるものを覽るがいゝ、社說記者のアタマは何もソウ神樣が特別に斯の任務を負はすべく創り給ふたのでもあるまい、彼れには、衆人の思想や要求や判斷の上に超越したる智識、之等をコンデンスしたり、按排したり、其處に歸向の一新路を創るといふ特殊な人格者でもあるまい、謂はば或點に優れ又或點に劣つた一個人のアタマから出て來るのだ、社說を書くには、少くとも社の會議を開いて其歸結からスタートしたのではあるまい。縱しソウした處で、何も其處に衆人の智識や考へや妥當性より優越したものがあるといふ理窟は見出されない、然るに世の多くの人達は、社說なるが故に一も二もなく其處に絶對價を拂ふの傾向がある。それは、新聞社及社說記者其ものに取つては會心な事であらうけれど、偶々衆人の無理想にして無慧智なるを語るものだ。先づそれは可いとしても、新聞記者が、暴君專制

治下の秋官よりも酷い審判者と成り一種の刑の宣告者と成つて、可哀想に、無辜の者を社會的絞首臺に上ぼせて了ふのだから驚く。亞米利加文明の暗黑面たる處の所謂私刑（リンチ）を呪ふてゐるが、事實、斯の一種の私刑が得て新聞紙上に行はれるから文明の利器もあつたものではない。試みに、所謂三面記事を披いて覽るがいゝ、主觀的に專斷的にそして甚だ不用意に、テンから一種の社會的刑罰を宣告して、而も事實は是を裏切る事が少くないのだから驚かざるを得ない。奈何に興味中心に趨り或は勢力上の開拓に必要なればとて、主觀的に或事實を斷定して、世の衆愚を惑はすの結果を生せしむるのは果してどんなもんであらうか。即ち偶像崇拜者の喜隨の涙を絞るのが新聞の生命ではない、寧ろ斯の衆愚を開發せよだ。書き度い事は山程ある、併し惡まれ口でもあるまいから、是は是丈けで止して措かう。

## 時計の機械と指針

隱れて働くといふ事が、犧牲といふ意味に於て尊い事ならば、今の所謂『大新聞』の記者は、其多くに於て斯の尊き犧牲的活動者であらう。何故ッと云つたつて、まあ考へても見るがいゝ、一年經つたとて自分の書いたものや自分のほんとうに自由な思想が紙上に揭載の光榮を得るといふ事はまあ餘り無からう。勿論新聞は日毎に誰れかの手によつて拵へられなければならないが、分限者の食好みで、大概の記者達は、折角の苦心も努力も、反古籠の中に憂目を見ねば、『時計の機械』で、表現的に何ものかになつてゐる其針を動かすに過ぎない。素より斯る事は尊い事ではあらうが、由來眞實に自己の個性に生むとする傾向の强い新聞記者氣質として、それは何たる矛盾な事かとも謂へる。然らずして、若も新聞記者としての個性に生き是を何かの形式に表現する事が、新聞記者の生命として完きものならば、然り、それが眞に新聞記者の生活ならば今日の二流三流處の新聞に記者生活を托してゐる人こそ、ほんとうな新聞記者生活とも云ひ得よう。何故ならば、多くの塲合彼等の思想彼等の努力、而して彼等の生命其ものが即ち其新聞紙となるからである。約り、紙上に其生活を比較的自由な範

圍に於て表現し得るからである。併し、其就れが尊いか、就れが眞實な生活であるか、それは今此處に書く必要はない事で、わたくしは只新聞記者の生活の一部面を語つた迄である。

## 履違への生活

新聞記者の生活は、其人が機慧な種取りをなすが故に、又其者が雄渾な文章を能くするが故に、更に亦、其人が犀利にして深刻な觀察眼を有するが故に、其生活の尊さを價値付ける全體ではない。要するに、新聞記者てふ仕事が、社會的に影響の多いそれなるが故に爾く價値付けられるのである。新聞は社會の木鐸だと云ふ、それもソウであらう。新聞記者は社會的啓發者であり、社會教育者であると云ふ、それも間違ひの無い事であらう。けれども新聞は木鐸だが木鐸は新聞ではない。社會的教育者たり啓發者は新聞記者ではないが、新聞記者は確にそれである。併し新聞が一つの職業化し、新聞記者も一つの職業的階級化した今日、新聞及新聞記者は、所詮、社會組織の一つの分業機關だ。斯の意味に於ては、新聞記者も偉からうが、是丈けでは社會は生きて往けない。他の凡ゆる分業機關も偉からざるを得ない。新聞及新聞記者の矜持（プライド）は聽て他の者にも矜持を有するのだ、も一つ云ふ、新聞及新聞記者なるものが社會組織の要素若くは社會生活の因子であつたならば、それ丈け他にも要素や因子が存する譯だ。要素や因子は分量の關係でない、要するに、有るか無いかの關係だ。即ち効果や仕事の大小ではない、斯の意味に於ては、新聞及新聞記者なるが故に、衆人に卓越した特殊な價値を有つてゐる譯ではあるまい。履違ひは此處から起るのだ。新聞記者として一つの高尚（ノーブル）な氣分に自らを持する事は左もあるべきだが、是が通り越して一つのProudとなつては、最早臺無しじや。わたくしは新聞記者生活の幾年を過ぎたが、得て未熟な記者達ちに前回にちよつと書いたような、履違ひのあるのが、甚だ以て厭やであつた。人によつては、是を同輩諸氏に對して遣るのだから耐らない。——花咲くと思ひし庭は冬枯れて木嵐寒く身にぞ浸みける——、是がわたくしの新聞記者生活の案外な印象であつた。併し、是を以てわた

くしの新聞記者生活の全體であつたといふのではない。勿論、新聞記者にあらざれば味ひ得ない高尚な會心事に生きた事もあつた。

**評論記者と粗製濫造**　わたくしは、前回にちよつと誌したように、新聞記者としてその首途であつた處の某變り者揃ひの日刊新聞は、大業な事を云ふようだが、初めは脫兎の如き勢ひで、其分布に於ては實際に天下の贊同を得て、創刊より有料が壹萬以上も出たのだから、經營如何によつては、少くとも、當さしく維持し得たのであらうに、遖に變り者の社主は、しよつちゆう變り者の社長格と衝突を遣る、――而もたあいもない事で――、許でなく、營業方面に於ても、例へば、新聞紙の經濟的泉源ともいふべき廣告に就て、自分の氣に入らない廣告であらば、縱し何百圓の收入を取り逃そうともテンから掲載謝絶といふ風で、其意氣や寔に買ふべく愛すべきであるが、困るのは營業部面の責任者である。其一例として斯ういふ事もあつた。何んでも大阪市内某一大賣藥業者だが、曾て、怖るべき或生理的犯罪を犯し易い賣藥の製劑を爲して發賣してゐるのを、古い事だが何かの關係から社主M氏が告發して、到々幾等かの罰金の上に改劑を命せられた事があつたそうだ其幾年の後件の新聞紙へ其賣藥業者は全紙大の廣告を申込むだ處、其中に右の賣藥名が有るからとて、縱し改劑であつても主義に於て承引出來ない、といふ非常な鼻息で、其賣藥名を削れとか、削らぬとか、竟に數百圓の收入を遁して客まない、といふ遣り方であつた。由來ぼんくらな營業部長の面上恒に八の字が深く刻まれてゐたのは左こそとお察した。斯ういふ風だから、創刊に約貳萬圓餘りの蓄財を抛げ出し、追つかないで珍書の所藏家だと斯界で稱へられてゐた處の、我子よりも大切にしてゐた藏書の殆むど全部を叩き賣つて軍用金に爲たが、落ち付く處は『城壘傾いて落日熙々たり』であつた。斯くて、わたくしは、間もなく、某二流新聞の一の面を持つ事になつた。

或る事で、其社幹部の廣告に『E・K・Sを政治部次席として專ら其部面を擔任爲致候間當部に關係ある事項は本人に御申出相成致し』といふ意味な

各部主幹の連名廣告を出したが、奈何に光榮ある位地だらう、併し、政治部長なる者は、某兵營と次いで出征軍中に、所謂飯盒の喰ひ數を算へつゝあつたのだから、此の部面の何も彼もが、わたくしの身邊に蝟集したのだ。わたくしは、前にも誌したように、ほんとうに新聞記者としての個性に生き度い、といふ考から足を洗つたのだから、斯の比較的自由なる境地に置かれた吾れ、其處に思ひ存分眞實な自分を發現出來る筈だが、事實は、此處にも多くの裏切れる或ものを有つてゐた。先づ、周圍の關係は、兎も角として、三百六十五日、所謂社說なる評論に毎日一篇の筆を執つて、而も尙一の面の二欄位ひは何か物せねばならぬのであつたから、得て粗製濫造、推稿も思索もあつたものではない工場と編輯局の時間關係は、用捨なく日毎に吾れに逼つてゐたのだから、少からざる場合に於てソウであつた。併し、是で以て三四箇年も通したが懷へば問題もあればあるものだ。そして、是で以て相當な反響もあつたようだから、所會の民衆といふ事に就て、つく〳〵考させられざるを得ない。何は兎もあれ、多くの場合、新聞記者としてのほんとうな生活に在つた事は、今より見て聊か會心事であり、所謂大新聞なる背景を有せなむだ事が、何もそう惜くはなかつた。（つゞく）

――大　阪――

○天竺の流沙にゆくや春の水浪華の街を西すみなみす

――夜道頓堀――

○小夜ふけて道頓堀の人なだれちりゆくころの旅ごころかな

# 趣味化された室内裝飾（上）

吉村美代子

人間の氣質だとか、趣味性だとかいふものは、よくその人の衣裳や持物等に具體化されて現はれるものですが、又その人の住んでゐる家だとか、その家の中の樣子も少し心懸けて見ましたならば大抵の場合その人の人格性情を、可なり明白に知る事は餘り困難でありません。

私達の住居する家屋は、必ずしも自分が設計して自分の心持通りに建てたといふものではありません。まして都會に住む者は、その時々の便宜上或は手元の都合とか、勤め向きの勝手によつて、多く借屋住ひをするものが澤山だらうと思はれます。斯して他人の設計した家に這入つて暮すことになりますと、この間取りは斯うしなくてはならないとか、この建具が何うありたいとか、隨分不服に思つても何うにも致し方はありません。少しばかり氣に欲まらない點があつても已むなく我慢をして住まはなくてはならない場合が隨分多いとでせうと思ひます。ですから斯ういふ人々は、その家屋に就いては餘り好き嫌ひも云へないわけですが、併しその家の中の座敷とか書齋とかいふものゝ裝飾——好みは、かなり自分の心懸けに依つて自分の趣味性を現はす事は出來るのですから、先づ大ていの家を訪問してその客間に通つてみますと、その家の主人なり奥樣の趣味性を、可なり明らかに察することの出來るのは面白いことゝ思ひます。

私は、爰に最近に見た或る人の家の客室に現はれた面白い飾りつけの事に就いて少し書いてみたいと存じます。

その人は或る會社のかなり重要な地位にゐる人ですが、住宅は借家でした。私のいつも通される室は、極つて奥の八疊なのです。私は約一ケ年前

からつひ先頃迄に七八回もその家を訪れて、こゝの御主人の趣味性がどんなに多種多様で、又洗練されたものであるかを知りました。それは、私がこの七八回の訪問中に、客室の裝飾が何回も變つてゐた事で、その度に私は恰で別の家を訪ねたやうな氣持ちになつたからです。

その座敷で接した裝飾は、私に前後五回の大變化を見せました。私が今度又この人の家庭を訪問したら、更に今迄とは變つた別趣味の飾りつけを見せられる事だらうと、私はそれを樂みにして居ります。

この客室は僅か八疊なのです。

そして右の五回の變つた裝飾といふのは、

一、梅に關するもの、
二、劇に關するもの、
三、支那情調を現はしたもの、
四、德川中葉時代の情調を現はしたもの、
五、武器に關するもの、

以上の五通りなんでした。私は之だけ見ても、此人の趣味性が如何に廣いかに驚いてをります。私は私の狹い鑑賞眼に映つた之等の座敷裝飾に就いて說明してみたいと思ひます。

## （一）梅に關するもの

これは二月の末にその家を訪問した時の所見なのです。この座敷は東と南を受けた室で、廻り椽になつてゐますから、光線の取り入れは充分で、隨分明るい室であります。その點は先づ申し分はありませんが、實は普通以上に出ない借家の座敷ですから、寧ろ立派なものでない事は無論ですけれど、御主人の好みに依つて、其處が趣味化されて居りますので、相當に重みも見ゑて、全く通された者の心持ちを快よく落ちつけてくれました。先づ這入つて右が三尺の押しこみで、廻し戸の一枚襖、その次に奥の方へ並んで違ひ棚、次に床、即ち八疊の室ですので二間四方で片側が十二尺ある勘定なのです。この十二尺に床と違ひ棚と押し込みがあるものと思へばよいのです。そしてこの床や違ひ棚は東向きと考へて頂きたい。

見ると座敷の東南の隅には、風呂先とも見るべき二枚折の杉戸に、赤塗の椽を取つた高さ二尺二三寸位の屏風があつて、墨繪の梅に白い胡粉で描いた梅花が、相當に古びのついた板の面に浮いて見ゐ、その前には直徑二尺餘りもあらうかと思はれる桑胴(?)の古い艶のいゝビン掛け火鉢が置いてあります。火鉢には光琳風の梅の幹と枝が、雄壯に彫り込んであり、それがみんな金箔を置いたもの、花は總べて青貝でありました。

東北の隅には、二枚折の高さ五尺程の金表裝の屏風、尺五絹本と見ゐる二枚の梅の畵、それが右の方は只一色の典雅な墨畵で、それに對して左が全部目醒めるやうな派手な朱梅、その色彩が非常に調和よく美しいものに思はれて目立ちました。又南の承塵(なげし)には金表裝の額が掛けてあつて、梧竹の筆で『竹外一枝』の四大文字、私は今よく明白には知りませんが、その『竹外一枝』といふ詞は、支那の昔の詩人、陸放翁か高靑邱かの詩の中にある『竹外一枝梅』から來たのではないかといふやうな事を聽いたと記憶します。床には雨山といふ詩人の書いた梅の詩の幅と、同じ人の描いた墨梅の細い双幅、赤松(?)の床柱にかけた掛花いけには、少しばかりの菜種がすが〳〵しく春を告げてをりました。違ひ棚はと見ると、横幅は關雪散史の『梅花書屋の圖』、之は他の繪が悉く墨とか朱とかばかりで、みな一色の單色で現はされてゐるのに、之のみは盛んに綠靑や紅や胡粉を使つた光彩燦然たるもの、竹の二重切りには椿と水仙がつゝましく活けられてありました。即ち他はみんな梅でありますのに花丈けは梅を使はない處に御主人の用意があるのでせうと思はれました。

違ひ棚の下には、黑塗の置戸棚があります、卽ち置いてある違ひ棚なのです。上の戸から下の戸觀音びらきの戸にかけて、大きな梅の枝が逆に生ゐ下つた彫り繪が模樣になつてゐます。これは、幹も枝も皆な燻し銀で、花は極く稀に色の淡い靑貝を嵌め込んであります。御主人はその戸棚の値段書を次の樣に說明しました、卽ち拵へたのはもう五六年も前で、その頃の價で戸棚で十七八圓、彫りの手間賃が十七八圓、塗りが七八圓、裝飾代

が十圓程、全部で五十圓餘りの價格ださうです。御主人の主義として贅澤をしないで相當の功果を擧げるのが苦心ださうでした。

この室は斯うして梅で以て寔に品よく統一されてをりました。時折二階で鶯の鳴くのを耳にしました。私は全く清淨な春の氣分に浸りながら、これも梅の花形の赤塗りの茶卓から、燗茶々碗を取り上げてすゝりつゝ、御夫婦と一時間程も話して歸りました。次は劇に關した同じ室の裝飾を申上げたいと思ひます。

## （二）劇に關するもの

大ていの客間の裝飾を時々替へるにしても、額まではかへないものですが、こゝの御主人は時々額を替へます。

私が第三回目（？）の訪問の時には、額が曾つて見た『竹外一枝』が、加茂秦鷹といふ歌人の『わざをぎ三題』といふ歌を書いた額に變つてをりました。わざをぎ——即ち俳優なのです。

床は清忠の芝居繪、着色の立派な幅で繪は勘進帳の辨慶、例の人を睨み殺すやうな眼玉をして瞋視してをりました。床に向つて左の隅には、黒呂塗りの太刀掛けに、飾り太刀が逆に立てゝあり、床柱の懸花活には梨の花と柳（葉をむしつて新芽を吹かしたもの）が清楚な感じを與へました。

違ひ棚の上の横ものは、輝方の『芝居がへり』がこれも極彩色で濃艶な情調をたゝへてゐます。懸花活の背面にあたるところ、即ち棚向きの方（床柱の背面）には上の折釘へ古名優中村富十郎（慶子）の蘭の自畫賛、賛は俳句、下には赤い短冊、之は晶子女史だつたか白蓮夫人だつたかの芝居の歌でありました。

棚の右寄せに古い鏡臺があつて、鏡蓋の紋は金で結ひ錦、古名優あやめであつたかと思はせるやうなものでした。側に古い皷の胴が置いてあつたのも氣の利いた取り合せでした。その皷の模樣が牡丹の金蒔繪、これは市川に緣のあるもの、右の隅に淨るりの人形、お七かお染か。

東の承塵（なげし）には古い杉額に二つ双べて白い假面（めん）の

『翁』と黒い假面の『三番叟』が懸つてゐます、時代ものらしいのですが、艶がよくて名作であらうと思はれました。記き忘れましたが前の置戸棚のあつた位置には、冠り臺が置いてあつて、上に金蒔繪の假面箱が乘せてありました。

座敷中で一ばいの覇氣を漲してゐるのは、座敷の東北の隅に立てられてある三枚折屏風の繪で、一めんに勢よく描いた朱の大海老、壽海老人市川團十郎の似顏の古い板繪が一枚べつたりと貼られてありました。

出された茶呑み茶碗は紅がら色で三桝の模樣、土瓶も同樣本當に小憎い程澁い心遣ひでした。歸らうと思つて玄關に出ますと、入る時には氣づきませんでしたが、隅に立てられた二枚折には、之にも一ぱいにたつた一つの大々根がざさりと描かれてありました。

役者に對して面白い諷刺だと私は思はず微笑みました。（つゞく）

## 國華としての櫻

一方には櫻をば單に木の花とも云つて居ります。木の花も澤山あるが、其花の中で最も著しく綺麗なものは櫻であるといふので、木の花といへば櫻にきまつてゐました。そして我々の祖先はまたいつか櫻をば人格化して居ります。即ち「このはなさくやひめ」がそれであらうと思ひます。花の中の花といふ木の花を以て命名したものであれば、女流としては女の中の女といふべき立派な方であつたに相違ありませぬ。理想的の美人と、其處に結び付いてゐるかと思ひます。

# ○光の世界

色盲道人

■吾々は赤(一)を最初として橙(二)黄(三)綠(四)を經て青(五)藍(六)菫(七)七色の世界を光りの世界と呼んでゐる。

■此光りの世界に喜んで、遊んで働いて居る。色の反對の黑の世界は、闇黑の世界として人間の堪へ能はざる所である。

■人間の眼には、赤以下の七色より外見ないけれども、實は外學的に、紫外光線、即ち菫外線のあることを知つた。

■紫外線は何の位ある乎、無論七つや八つではない。波長の一番長い赤の外の光線は人間の眼に入ることが出來ず、波長の一番短い紫以外の光線も亦人間の知ることの出來ないものとなつてゐる。

■光線の波が大きくも、小さくも、吾等に見ることの出來ないのは、非常に大きな音響と非常に小さな音響(波長)の吾等の聽感に入ることの出來ないと同一だ。

■吾々は、光りの世界を僅かに七色に見て居る。併し本當の世界は、幵んなケチなものではない

■モット〳〵色彩に充ちたものだけれども、人間の五官の貧弱さは、之を知ることが出來ない。

■そして一番恐ろしいものがある、夫は黑だ、光りの反對の世界だ。黑は死だ滅だ。

■人間は酷く之れを怖れて居る。

■此人間の七色を黑で塗り消せ。其處に何がある？死！。死！。

■貧弱なる光り　世界よ。僅かに七色より感じ能はざる人間光りの世界よ。こんなものが黑い一抹の手に塗り消されることは朝飯前だ。

■あはれなる光の世界よ。之を常住だと思つて居る乎。

■魔術師の映畫にも價しない。

# 讀書法

夢古村人

世人は讀書を以て、讀書最終の目的となすものが多い、讀書によつて他人の智識を記臆し、過去の事實を知るを得ば、是れで讀者の目的を達したものとなすのが今の凡俗社會の讀書觀である。

併し讀書は手段であつて目的ではない。即ち讀書によつて得た智識は、思索する時の材料に供せられ創思力を刺戟するに過ぎない筈のものである人類は過去の事實と他者の智識とを記臆し智識するのみでは、決して進歩するものではなく、又文明を稗益する力は毫もないのである。

讀書が人の思索を誘致する功あるものに過ぎぬものであるとせば、多讀の弊たるや素よりいふまでも無いことである。

世の中には多種多量の智識を腦裡に收めて、却つて判斷力を失ひ若くは判斷力の混亂を來して一種の發狂狀態に入る如きものがある。恰當興奮藥料を過度に使用して腦神經の疾を起したやうなものに等し。又たゞ他人の智識と過去の事實のみを述べ、或は傳へて、一種の蓄音機に過ぎざる學者を出すこと、世上その類尠くない。これは即ち多讀の弊を受けたものであつて、假令へば多食の徒が、其食物を其儘下痢さしたやうなものである下痢的智識は唯汚臭を發するのみで、人の思索に資し、人文の發達を助くるものでない、だから讀書は、寧ろ少量で之を精讀玩味するのをよしとするのである。讀書は食事のやうなもので、食事が體力を增す如く、思索力を助けんとするものであるなれば、日夜卷を釋かずといふ如きは、決して有益な讀書法でない。若し日夜食事を廢せずして之を繼續するものありとせば、其身體に及ぼす影響は果して如何であるか、それは言はずとも知れたことである。

食事は一日二食或は三食して初めて害なく益あるものである。讀書も又是に等しいものである、日

夜耽讀する如き事なく、一日兩三回、或は三十分又は一時間、一時間半づゝ精讀して初めて思索を益することが出來るものである。長時間繼續の讀書は概ね無意味となり、思索を誘致する刺戟力を失ふに至るものだ。

世間普通の讀書家は、同時に種々の書籍を混讀するを以て思索を害し、思想を雜駁にするものだといふが、是れは大なる誤りだ、既に言ふ如く、讀書は食事に等しい、而して食物の混食を必要とするは素よりいふまでも無いことであるから、讀者の如きも單に一時一種一冊を讀むは、寧ろ思索を害することあつても之を益することが少ない、假令へば米のみを食ふやうなものである。だから日々綴く書籍は、數種數冊に定め置いて、或は物理書、或は歷史、或は端唄本、或は哲學書、或は詩歌の書、或は算術書、小說等を取り混ぜ、或は三十分或は一時間づゝ種々に混讀するがよい。

是れ人の思想を豐富にし、腦中に於て智識と智識との化合を生じ、新思想を生ずるに與つて功あるのみでなく、萬有の間に一貫する法則を知り、人の思索をして周到ならしめ、且つ偏見に陷らしめない功がある。而も智識の刺戟力を銳敏にし、讀書に厭ぐの念を起さしめることなく、且つ腦髓を疲れしめないで讀書の快樂を覺ねしめる功德がある。

讀書によつて得た智識を記臆して、永く忘却せないやうにと力めるのは、是又世間の讀書家の常である。併し此の如きは思索を害すること甚しいものであるから、寧ろ讀む傍からその得た智識を悉く忘れてゆくのがよい。と云へば、それでは讀書の功果して何れにあるや、と問ふ者があらうが、それは淺見な人であると言はねばならぬ。

永久に記臆して忘れることのなかつたなれば、思索は常にこの智識に支配され、勢ひ之に拘泥して自ら發明の新思想を生むことが出來ぬやうになる。されば記臆から消失しない讀書智識は、假令ば不消化な食物の如きもので、即ち其食物が胃腸のうちに停滯して血行中に入らず、絕ねず心氣の煩を爲すと等しく、忘却せざる智識は、心力活動の煩を爲すに過ぎぬ。

食物の滋養となり、活力となるものは、能く消化され、胃腸壁から吸收されて、血液循環中に入り、全く其痕跡をも觀ることが出來なくなる。讀書も此くの如く、その讀むところの智識絶ねて忘却することなくば、腦裡に停滯して思索を妨ぐるも、若し讀んで而して消化し、傍より之を忘却し、其得たる智識が全く腦裡に痕跡を止めず、萬卷の書を讀んで而も全く讀書せざるが如くならば、茲に其忘却せられた智識は初めて潛勢力となつて、思索を助け心力を活動せしめることゝなるのである。

## 我國語の改造

羨ましいのは歐米各國の國語の有樣で、小學校の二年生三年生位になると、新聞を讀んでも一通りは判る。學術上の用語は別としても、通常の文は理解し得られるのである。又各專門の用語其のものも、日本のように區々別々に特殊なものでなく、日常の用語を其儘用ゐてゐるのが多いから、極めて判り易い。それ故義務教育でも卒へれば、どんなものでも讀める、又書くことも出來る。義務敎育在學中に於ても多大な敎材を呑込むことが出來るのである。論より證據、第一、讀本の分量も多いし、地理にしても歷史にしても、思ふ存分に澤山書いてあつて、其敎材の豐富なことは、日本の敎科書の貧弱な敎科書をさへ、持扱ひに苦しんでゐるのである。一週何時間と云つて、地理や歷史や理科があつても、其時間の半分以上は、文字や文章の說明にかゝつてゐるのである。形式だけが整つてゐても、敎育の効果が薄いといふのは此處である。




# 相談室

本欄は一般に開放してあるのですから會員なると否と讀者なると然らざるとを問はず御利用被下さい

△**建築博覽會**　御會で來秋に建築博覽會をお催しになるそうですが私は細民向の理想的な長屋建築の出品を計畫して居りますに就て何かと御會の御助言を願ひ致いですが如何でしょう――浪華男(答)歡むで御相談に應じますから兎も角御越し被下い　△**宣傳**　御會の建築博に就ては今より種々な方法にて一大宣傳を遣つて欲しい――會員(答)其計畫もあります△**講演會**　建築を中心とする專門事項又は一般都市問題や殊に都市思想問題抔に就て御會に講演部を置かれ出張講演等を遣つて欲しい――鴨東生(答)何れ御希望に協ふようになりましょう△**建築**　私は今回三十七坪程の建坪で平家を新築したいのですが建築費五千圓を見積つて居りますそれで出來るでしょうか――局外者(答)出來ない事はありませんが坪百參拾圓當りでは餘り纏つたものは出來ません兎に角詳細をお知らせ被下い、△**見本と圖書舘**　御會に建築材料の見本と小圖書舘を設けて貰ひ度い――會員(答)既に計畫中ですから遠からず實現しませう△**懸賞論文**　雜誌「建築と社會」に時々一大懸賞附きで弘き部面に亘る懸賞論文を募集して頂き度い――會員の一人(答)我誌も御陰で益々進歩的發展を遂げつゝあるのですから何れソウいふ事にも致しましうが遲くとも來秋の建築博に際してソンナ事をも遣つてはと考へてゐます△**俳句**　御誌の俳句や和歌を何故廢めたのです?――愛讀者(答)局面を更に展開する爲に一先づ遣り方を變てみたのです若し要求が殿であるならば再び其欄を置く事に吝なる譯ではありません△**建築法規**　御會から御發行のように承つて居りますが建築法規はまだ出ませんか――會員h生(答)目下頻りと準備中ですから最早ソッ永く掛るまいと思ひます△**試驗部**　御會に建築材料の試驗部を置いて貰ひ度い――希望生(答)至極同感でありますが何れ彼樣な事も實施するようになりましょう△**資格認定**　汽船やチエン抔に於けるロイドのように又電氣技術者資格認定のように建築士又は都市計畫士といふような最も權威ある認定を御會で遣るように御發展を祈る――愛會者(答)有り難う△**訂正**　前號にオットワグネル派の建築の事に就て獨逸に於ける新興な樣式であらうとお答へしたのですがアレは墺國に於けるそれですから訂正致します(本欄係)△**試賣**　私は大層美しい大理石の山を有つてゐるのですが建築材料として試賣致し度いのですけれども何分素人ですから御會より御紹介を願はれないでしょうか――吉田義郎(答)其見本を持てお越しなさい其上にて。



# 時報

## 法令

### ◎住宅組合法案（本議會にて可決）

第一條　住宅組合は組合員に住宅を供給するを以て目的とす住宅組合は法人とす

第二條　住宅組合は前條の目的を達する爲左の事項を行ふことを得

一、住宅用地の取得造成若くは借受又は組合員に對する貸付若くは讓渡

二、住宅の建設又は購入

三、本法に於て住宅と稱するは住居の用に供する家屋及其の附屬設備を云ふ前項の附屬設備の種類及範圍は命令を以てこれを定む

第四條　組合の供給する組合員の住宅は一組合員に付き一戸に限る

第五條　住宅組合の供給する住宅に關する坪數其他制限は命令を以てこれを定む

第六條　組合員の持分は之を相續することを得

第七條　組合員住宅の所有權を取得したる後出資拂込の完了に至る迄の間左の各號の一に該當する時は組合は定款の定むる所により組合に對し住宅の所有權を組合に讓渡することを得

一、出資拂込の義務を懈りたる時

二、組合の定むる住宅使用條件に違反したる時

第八條　組合員は前條の規定に據り其住宅の所有權を失ひたる時は組合を脫退す

第九條　組合員出資拂込の完了前住宅の所有權を取得したる時は組合は組合員をして拂込出資金額につき其住宅の上に抵當權を設定せしむる事を得

第十條　住宅は定款の定むる所により之を火災保險に附すべし

第十一條　住宅組合の住宅の建設、購入若しくは住宅用地の取得又は組合と組合員との間に於ける住宅若くは其用地の所有權移轉に關しては地方稅を課する事を得ず

第十二條　北海道地方費府縣又は市町村は勅令の定むる所によりて住宅組合に對し住宅敷地資金を貸付くる事を得

第十三條　國、北海道地方費府縣郡又は市町村の所有に屬する時は隨意契約により住宅組合に之を賣拂ひ又は貸付する事を得

第十四條　住宅組合は主務大臣地方長官郡長及び市長之を監督す

第十五條　本法中郡長とあるは郡長を置かざる地にありては之に準ずべきものなりとす市長とあるは市制又は町村制を施行せざる地にありては之に準ずべきものとす

第十六條　民法第四十四條第一項第四十五條第二項、第三項、第四十八條第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條第五十九條乃至第六十一條第一項、第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項、第六十六條、第七十條、第七十三條、第七十四條及第七十八條乃至第八十一條の規定は同法第四十五條第三項及第四十八條第一項中期間に關する規定を除くの外住宅組合につき之を準用す

産業組合法は第一條、第五條、第十六條、第三十二條、第三十四條、第三十八條、第四十三條、第四十四條、第四十六條乃至第四十六條の三、第五十九條、第六十九條第七十五條　第七十六條乃至第九十二條及第百六條の規定を除くの外住宅組合につき之を準用す

附則　本法施行の期日は勅令を以て之を定む

## ◎市長權限擴張案

政府は東京、京都、大阪、神戸、名古屋、横濱の六大都市に對し特別市制を實施せん計畫なりしが研究の結果、此上に傳ふる所の特別市制に就ては尚考慮すべき點あり今直に之を實施するも何等効果なきを以て更に十分調査することゝなり先づ差當り上記六大都市のみ市長の權限を擴大して其の自由裁量の範圍を大ならしむるの方針を樹て三月四日の閣議に於て審議の結果右六大都市の市長は直接内務大臣の監督を受け從來市長が府縣知事の許可を受け來りたる事項は總て府縣知事の許可を受くるの要なく直接市長に於て自由に裁量を爲すことを得の意味に於て除外的規定を設くるに決定せり尚東京市に於ては區を自治體とし區長の權限を擴大し區有財産制度を確立せんとするの意嚮あり四日の閣議に附議したるが尚研究すべき點あれば次回に於て決定するとし當日は未決の儘とせるが若し法案にして決定せんか最初に東京市に於て之を實施し漸次大阪京都の都市に實施するを得る由なり

# 都市施設

## ◎港務部開始決定

大阪府に港務部を設置することは先年來の懸案にして大正九年度議會に之が經費を計上せられたるも解散の爲實現に至らざりしが昨年夏の臨時議會の協賛を經て其一分たるべき輸入獸類檢疫所の設置を見ることゝなり現に木津川尻に廳舍を建築し事務を取扱ひつゝあり政府は今期議會に改めて港務部設置費を計上し既に兩院を通過したれば愈十年度より之が開始を見るべく其際は現在の臨時海港檢疫所及獸肉檢疫所を廢止若しくは統一し開港規則に關する一切の事項行政警察及衛生、海港檢疫、輸入移入獸類病毒汚染の疑ひある物品の檢疫及檢査に關する事務一切を擧げて港務部に於て行ふことゝなる譯にして部長は差當り田中警察部長兼攝する筈にして其他の職員として港務官二名、港務醫官、港務獸醫官各一名及屬、港吏、醫官補等數十名を新設せらるべしと

# 都市計畫

## ◉都市計畫案認可

都市計畫法第三條に依り內務大臣より都市計畫大阪地方委員會に附議した大大阪建設の事業並に之が年度割決定の件は最初第一回大阪地方委員會に於て原案修正意見出で其後常務委員會綿密なる審査を經て第二回大阪地方委員會に於て意見確定を見たるが之に對し內務省に於ては今日まで愼重に審議の結果三月十九日附を以て愈々右大大阪建設の事業並に年度割を決定し二十二日大阪府に對し認可方を通牒し來つた細目左の如し

第一、街路の新設及擴張の部

廣路二十四間道路

第一號線大阪驛前北野角田町三百四十九番地の一より大江橋、淀屋橋並長堀川及道頓堀川の各新橋梁を經て難波驛前難波新地五番町五三番地の一に至る路線の全部十六間道路(一等大路第二類)

第一號線九條通一丁目七〇三番地の一より本田町、堺建藏橋南詰木津川新橋梁及江戸堀北通二丁目を經て肥後橋及渡邊橋を經て東梅田町三百十一番地の一に至る路線の全部幅員十六間

十三間道路(一等大路第三類)

肥後橋南詰に於て一等大路第二類第一號線より分岐し西長堀橋及深里橋を經て一等大路第二類第二號線終點と接續する區間及大國町千九百七十一番地より宮津町三百五十六番地の一に至る區間

▲第二號線鳴尾町二番地の一より天神橋及松屋町筋を經て天王寺逢阪下之町三番地先に至る終線

十二間道路(一等道路第三類)

第五號線中堂島大橋南詰より堂島濱通四丁目二十六番地先上福島中五丁目九百九十七番地の一地先に至る區間

第六號線中谷町三丁目三十四番地の一より森之宮東之町四百六十一番地先に至る路線の全部

第七號線上本町六丁目百六十五番地の一より下味原町八十二番地の四地先に至る路線の全部

第八號線中日本橋筋三丁目より惠美須町二丁目四十三番地の三地先に至る區間

第十一號線肥後橋南詰に於て一等大路第二類第一號より分岐し西國橋を經て淀屋橋南詰大川町二十三番地に於て廣路第一號線に接續する路線の全部

第十二號線中上本町二丁目三番地の一より谷町六丁目に至る區間及伯樂橋改築

第十三號天王寺逢阪下之町三番地地先一番大路第三類第二號線終點より天王寺西門前逢阪上之町三千六百七十二番地の一地先に至る路線の全部

十一間道路(二等大路第一類)

第一號線中北野角田町三百四十九番地の一廣路第一號線起點より扇橋を經て空心町二丁目十四番地の一地先に至る區間

第二號線中三軒屋上之町六十四番地の三より泉尾町四十九番地の十六地先尻無川渡船場に至る區間

第三號線中泉尾町四十九番地の十六に於て二等大路一類第二號線より分岐し新千歲町百二十六番地に至る路線

十間道路

第五號線中京橋一丁目一番地より大手前を經て上本町二丁目に至る區間

第十號線中東雲町一丁目七十八番地先よ

り森之宮東之町森之宮神社地先に於て一等大路第三類第六號線に接續する區間

第十三號線中天王寺寺田町三千五百五十一番地より郡市境界に到る區間

第十四號線宮津町三百五十六番地の一、一等大路第三類第一號線終點より南霞町九百七十八番地の一地先に至る線路の全部第十六號線東野田町二百十番地の三に於て二等大路第一類第十一號より分岐し中野町を經て澤上江町二百四番地の一地先に至る線路の全部

第十八號線中下咲原町八十二番地の四地先一等大路第三類第七號線終點より舟橋町七十九番地の五地先に至る區間

八間道路(二等大路第二類)

第一號線中梅田橋北詰より曾根崎川及安治川の北岸に沿ひ船津橋北詰を經て芦分橋に至る區間

四號線中江戸堀上通二丁目二十番地に於て一等大路第二類一號線路より分岐し筑前橋田簗橋及梅田橋を經て官設鐵道東海道本線を横斷し西梅田町大阪北端に至る區間

第五號線中本田三番町十七番地先より古川町八番地の三地先に至る區間

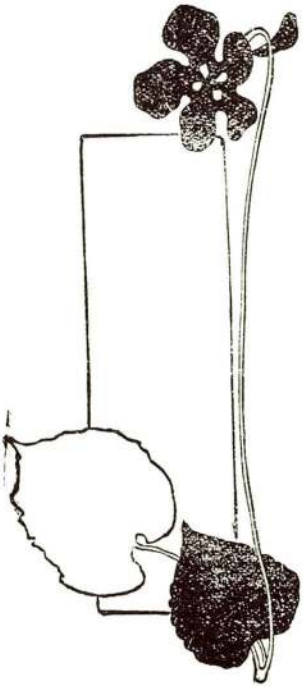
第二、街路舗裝工事の部

既設街路中面積凡二十五萬坪

第三、路幅整理の部

從來の街路にして既定の幅員に滿たざるものは之を整理し既定幅員と爲すものとす面積凡六七千坪

| 年度別 | |
|---|---|
| 大正九年度削除 | 大正十年度約四分七厘大 |
| 正十一年度約一割三分六厘 | 大正十二年度 |
| 約一割六分四厘 | 大正十三年度約一割六分 |
| 四厘 | 大正十四年度約一割六分四厘大正十 |
| 五年度約一割六分四厘 | 大正十六年度約一 |
| 割六分四厘 | |



# 會報

## 會合

### ○理事會

△日時　二月廿一日午後六時―八時
△會場　本會事務所
△出席　葛野、池田、平井、小笠原、吉井、宗（舊理事）横濱、波江、吉木、西谷（書記）
△記事
一、市街地建築物法施行細則に關し意見を交換し宗舊理事之れに參加せられたり
一、會員六名並に名譽贊助員九名の詮衡をなしたり
一、住宅改造博覽會準備に關し意見を交換し會場の都合により會期を來春三月にすることに決定せり

### ○住宅改造博覽會準備委員會（第一回）

△日時　二月二十三日午後六時―八時
△會場　本會事務所
△出席　片岡安氏、小笠原紹氏、葛野壯一郎氏、內藤太郎氏、中西甚作氏、池田實氏、山脇友三郎氏、宗兵藏氏、大林賢四郎氏、德政金吾氏、鴻池忠三郎氏（代）山本辰五郎氏、有山福重郎氏、久保田種吉氏、錢高善造氏（代）吉木久吉氏、西谷節（書記）
△記事
一、片岡氏より住宅改造博覽會開催の趣旨を述べ葛野氏代りて一月以降の理事會並に例會決議の經過を說明す、一二質問あり、同氏の發議に依り博覽會準備に關する諸般の調査を現役員會に一任の事を決議す
一、引續き茶話に移り、各自意見の交換をなしたり

### ○理事會

△日時　三月五日午後五時―七時
△會場　本會事務所
△出席　瀨戶、小笠原、波江、橫濱、吉木、西谷（書記）
△記事
一、聯合調査會へ寄附金五拾圓寄附の件可決す
一、二月分會計報告あり

一、住宅改造博覽會に關し幹事委員の分擔を定めんため左の五部を置くことに決定す

總務部　懸賞部　模型部
陳列部　資料部

## ○特別理事會

△日時　三月十日午後六時―八時
△會場　本會事務所
△出席　片岡副會頭、波江、瀨戸、小笠原、横濱、平井、吉木、西谷（書記）
△記事
一、住宅改造博覽會開催に關し、建築學會役員會の意向につき片岡氏より報告あり
一、依つて博覽會會期を明年秋季に變更延期することに決し、之れが準備は漸を追ふて調査することに決定す
一、本會は建築學會に對し應分の援助をなすことに決す

## ○住宅改造博覽會準備委員會（第二回）

△日時　三月十五日午後六時―八時
△會場　本會事務所
△出席　瀨戸、波江、小笠原、内藤、宗、置塩、山脇、久保田種吉氏代）山本辰五郎氏、鴻池忠三郎氏（代）鍵高善造氏、池田勘藏氏（代）橋本料左工門氏（代）西谷（書記）
△記事
一、理事長不在のため波江氏代りて役員會の決議につき説明する所あり、博覽會を來秋に延期する件につき承諾を求め、異議なく可決
一、次いで意見の交換並に質議應答あり又準備委員會の組織につき希望せらるゝ所ありたり

## ○例會

△日時　三月十七日午後六時―八時
△會場　本會事務所
△出席　山田靜、伊藤重雄、船山力雄、安部萬助、岩尾保衛、弓削兵太郎、戸山音次郎、大須賀巖、木越誠二郎、瀧山源三郎、杉田新五郎、馬野七登、成清卯三、吉木久吉、左谷米三郎、岸田宜一、藤本賢太郎、奥野時三、武田經一、高堂德治、前田武止、久保田小三郎、呼子正、中川廣、宮飼克二、小松靜片岡安、島田良馨、青木立三、和田貞治郎、長田岩次郎、谷民藏、池村元之助、山本辰次郎、波江悌夫、生野國三郎、藤井庄作、岡部顯則、流石信夫、エドウインボンタ、作野貞三、杉本修、西谷（書記）
△記事
一、片岡副會頭座長席に着き開會を宣し住宅改造博覽會延期の理由並に建築學會と交渉の經過を述べたり
一、書記より會務に關する報告あり、次いて新會員米人エドウインボンタ氏の出席ありたるを以て副會頭より一同へ紹介せられたり
一、名譽賛助員九名の推薦をなし滿場異議なく可決、後ち小憩
一　七時半極東硝子工業株式會社專務取締役山岡儀氏の有益なる講演ありたり「日本に於ける硝子工業に就いて」

# 會務

## ○通信

本會より建築學會々長へ宛、住宅改造博覽會の件につき左の依頼狀を發送したり

拜啓貴會愈々御隆祥の段奉慶賀候陳者今般當協會主催の下に明春三月を期し當地天王寺公園に於て住宅改造博覽會を開催致候事に決定相成候に付ては貴會の御援助を相仰き度偏に懇望の至りに有之候右不取敢得貴意度如斯に御座候敬具

日本建築協會
理事長　葛野壯一郎

建築學會々長
工學博士　中村達太郎殿

## ○新入會員

（會員）

近澤武男氏　松澤一松氏　增山新平氏
小西一良氏

（特別賛助員）

吉田清氏

（普通賛助員）

船山力雄氏　伊丹一男氏　德光文七氏
福原安治郎氏　德永義治氏

（正誤）三月號本欄に大須賀廐氏普通賛助員として入會の旨登載ありしも特別賛助員の相違に付訂正す

一、矢内庚次氏普通賛助員として入會の記載ありしも誤謬につき訂正す

## ○住所移轉

橋元喜藏氏　松江市島根縣立工業學校
石井鶴松氏　兵庫縣武庫郡住吉村空區二七九
船越安太郎氏　福岡縣宗像郡津屋崎町
敎安寺建築事務所
清水隼八氏　大阪府泉南郡樽井村樽井紡績株式會社
大島屋哲三氏　名古屋市東區上竪杉ノ町四
名古屋都市計畫地方委員會
エドウインボンタ氏　大阪市南區心齋橋通り壹大丸吳服店内ヴオーリス建築事務所出張所
植松興右衛門氏　北海道函館區末廣町一

○第一銀行支店建築場
大阪市東區京橋前の町
京阪電氣鐵道株式會社土木課營繕掛
中村范造氏　岡山縣笠岡町　笠岡紡績株式會社

（正誤）二月號本欄に呼子正氏とありしは東松孝時氏の相違につき訂正す

## ○寄贈圖書

日本美術協會報告　八號　日本美術協會
農家の友　三號　農家の友社
電氣學會雜誌　二號　電氣學會
材木新聞　六五八號迄　關西材木商報社
建築雜誌　二號　建築學會
都市公論　三號　都市研究會
新住宅　三號　洪洋社
國民經濟雜誌　三號　神戸高商出版部
平民建築　三號　帝國工業敎育會
商工時報　三三號　大阪市役所商工課
庭園　三號　庭園協會
工業の友　三號　工手學校内其社
鐵道協會々報　二號　帝國鐵道協會
建築世界　三號　建築世界社

## 役員及職員

副會頭片岡安
理事　葛野壯一郎（理事長）
理事　波江悌夫（主記）
理事　瀨戸文吾（主計）
理事　横濱勉（編輯）
理事　小笠原銅（編輯）
理事　吉井長七（編輯）
理事　池田實
理事　吉木久吉
理事　松本禹象
理事　平井三郎
編輯補　佐伯四郎
江村郊郷
書記　西谷節
武波泰
山崎萬壽夫

| 會員 | 二〇七 |
|---|---|
| 名譽賛助員 | 六〇 |
| 特別賛助員 | 一四 |
| 會員（地方） | 六五 |
| 終身賛助員 | 四八 |
| 普通賛助員 | 三四一 |
| 合計 | 七三五 |


## 本誌及廣告料定價表

| 本誌 | 冊數 | 定價 | 郵稅 |
|---|---|---|---|
| | 一冊 | 金五拾錢 | 貳錢 |
| | 十二冊 | 六圓 | 貳拾四錢 |

| 廣告料 | 種別 | 金額 |
|---|---|---|
| | 半頁 | 八圓 |
| | 一頁 | 拾五圓 |

（特別頁モ料金一定シアリ御照會アリ度シ）

大正十年三月三十一日印刷
大正十年四月一日發行（毎月壹回一日發行）

大阪市外中津町下三番一九八番地ノ一
發行兼編輯人　江村恒一
大阪市東區內淡路町二丁目廿一番地
印刷兼印刷人　大阪活版所
大阪市西區京町堀上通一丁目不動ビルデイング內
發行所　日本建築協會
電話土佐堀四、二九三番
振替口座大阪三九、九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話（土佐堀二四〇番）
振替口座二〇八四番

## ●第四集　第四号　掲載広告一覧（掲載順）

浅海商店
池田稔事務所
出浦建築事務所
新海工務所
渡辺建築事務所
葛野建築事務所
片岡建築事務所
横河工務所
宗建築事務所
国枝工務所
真水工務所
真水三橋建築事務所
舟橋建築事務所
遠藤於菟
木子建築事務所
茂、野村建築事務所
設楽建築工務所

---

片岡松井建築事務所
池田勘蔵
橋本料左衛門商店
日本土木大阪出張所
大林組
竹中工務店
上瀧組
長瀬兵馬
熊取谷熊次郎
久保田組
山本組
山縣組
松井工務店
松村組
藤木正一
鴻池組
小西組

---

安藤組大阪出張所
有山福重郎
木村組
清水組大阪支店
清水工務店
銭高組
吉田鉄工所
日本木材工芸
久原鉱業大阪出張所
山田大理石製作所
矢橋商店
吉田鹿之助商店
高田商会
日本商会
須賀商会
日本電飾
内外土木建築材料

栄進社
松尾和助本店
山本窯業商店
萩原煖房工務所
新田ベニヤ製造所
南満鉱業
砂崎
村井工業所
河村青写真調製所
山本コンベス商会
大野正営業所
野沢幸三郎商店
日本石綿盤製造
東京建鉄大阪支店
有田製陶所
宇野沢組スティンド硝子製作所
日本水道衛生工事
銀座建築用品店
共同建材製作所

---

明正社
コルク工業
東京電気
鈴木製作所
大阪煖房商会
大阪電気商会
川崎工場
北木島石材大阪出張所
高田商会銀座販売店
サクラ工業所
岩倉正商店
源工業
浅野スレート大阪出張所
大阪窯業
横河橋梁製作所
和井田商事
極東硝子工業